

1992年（平成4年）3月31日（火）

**PCB即時  
撤去を決議**

宜野湾市議会  
【宜野湾】宜野湾市議会  
(仲村善信議長)は三十日  
の三月定例最終本会議で、  
PCBの即時撤去に関する  
抗議決議と意見書を全会  
一致で可決した。

1992年（平成4年）7月2日（木）

## 盛大に市制30年祝う

### 宜野湾 功労者20人を表彰

【宜野湾】宜野湾市市制三周年の記念式典と祝賀会が一日、同市民会館で行われ、多数の市民が参加して歴々の節目を祝った。

宜野湾市の歌を全員で斉唱した後、桃原正賢市長は「人物、文化の交流拠点として、宜野湾市を盛り上げていく」と述べた。


仲村善信市長は「功労者20人を表彰する」と述べた。

主賓大会入賞した中橋校長らが表彰された。受賞者を代表して仲村議長と市長が「忠実に職務を遂行してきた。光栄です」とあいさつした。来賓の風知事代官、龍岡光男農林会議長もあいさつを述べた。

同日は一九六二年七月一日、県内六番目の市として誕生。人口は七万七千人余で、沖縄コンベンションセンターのある西海産を拠点に中部の中核都市として発展している。

春勝さん、姉妹都市関係にある宮崎県東郷町の木村映一町長が贈りをした後、文化協会、レク愛好会などによる数々の余興が繰り広げられた。

同市は一九六二年七月一日、県内六番目の市として誕生。人口は七万七千人余で、沖縄コンベンションセンターのある西海産を拠点に中部の中核都市として発展している。



1992年（平成4年）10月21日（水）

# 「基地撤去しかない」

## 米軍ヘリ事故 米事

# 宜野湾市が抗議

## 106復帰後 訓練中止申し入れ

在沖米海兵隊の普天間航空基地で二十日夜、同基地所属のCH46中型輸送ヘリが横転した事故で、二十日午前、海兵隊本部防衛施設局、宜野湾市は現場調査を進めている。県内で発生した米軍航空機事故は復帰後これで百六件目となった。同市は同日、普天間基地司令官に対し、事故原因の公表と調査期間中の訓練中止を申し入れた。事故現場は普天間第一小学校から近く、桃原宜野湾市長は「市民の安全を確保するにはこの基地撤去しかない」と抗議している。普天間基地はこのほど、特に夜間飛行が激しく、市の基地拒絶に市民からの苦情が寄せられていた。



一夜明けたヘリ事故現場。CH46ヘリが横転、大破している。＝21日午前7時40分、宜野湾市普天間基地

在沖米海兵隊普天間航空基地で二十日夜起きたヘリコプター事故について、海兵隊報道部は二十一日午前、ヘリはいったん着陸した後、駐機場へ移動中に横転、炎上せず乗組員四人は無事脱出と発表した。事故原因については詳しいことは分かっていない。事故を起したのは第三六海兵航空隊（アル）第二〇二中隊ヘリ中隊所属のCH46型輸送ヘリ。通常訓練を終え、二十日午後八時二十分ごろ、同基地のヘリパッドから駐機場に向かい移動中に横転した。移動は地上すれすれを飛行していたの

### 主な米軍ヘリ事故

- 1972年12月5日 普天間基地所属のCH46中型ヘリが西原町の建設現場に墜落。乗員四人が重傷、民間一人が軽傷。
- 77年3月10日 具志頭村のまき畑に緊急着陸。
- 80年10月2日 観測機010が計機故障で沖繩市国体会場の前野に緊急着陸。
- 83年7月6日 CH33ヘリが西原町の毛地造成地に緊急着陸。
- 83年11月12日 UH1ヘリが中城村の旧入場橋小学校跡地に緊急着陸。
- 89年10月23日 CH46ヘリが中城村の旧入場橋小学校跡地に緊急着陸。
- 89年10月23日 CH53ヘリがエンシントラルで夜間の野菜畑に緊急着陸。

か、車輪を滑り滑走していたのが珍しい状況は現在、調査中としている。

県基地外訓練場の小川緊急着陸帯をめぐり県内で発生した米軍航空機の事故

は復帰後これで百六件目。うちヘリコプターは七件目となった。同ヘリ中隊は今年九月、ハワイから六カ月ローテーションで普天間基地に配備されたばかり。兵力削減に伴い兵隊の再編で来年から同基地の常駐部隊となる予定。

1992年（平成4年）10月22日（木）

# 普天間基地の即時撤去を

## 米軍ヘリ事故



# 怒りの抗議相次ぐ

## 県議会 軍特委も対応協議へ

米軍ヘリの事故を重視した県議会は一面にも米軍基地関係特別委員会（喜久山盛彦委員長）を開き、県執行部や県警から事故について詳しい事情を聴くとともに、抗議決議の採択に向けて対応策を協議する方針だ。一方、社会、共産両党は二十一日、那覇防衛施設局や県知事公室に事故に対する抗議と原因究明の徹底、それに普天間基地の早期撤去を申し入れた。二十一日は自民、社大、公明党が県や那覇防衛施設局への抗議行動を予定しており、今回の事故を契機に普天間基地の撤去を求める声が一層と高まりそうだ。

軍特委の開催については、会を開き、意見書決議と抗議決議を採択する方向で協議するつもりだ。ところが、今回の事故は普天間第二小学校など民間地域と隣り合わせで、一歩踏まれば惨事につながる恐れがあった。たけなわは、普天間基地の撤去は、県警の池間武俊刑事部長に出府を求め、事故の原因究明と今後の対応をただす考えだ。

また、軍特委では事故の重大さから、ただちに臨時議大会を開き、たけなわに臨時議長に就任して、抗議決議を採択する方針だ。たけなわは、この日、社会、共産両党、地元・宜野湾市が那覇防衛施設局を訪れ、事故に抗議した。社会、共産両党は、新道善春委員長、仲宗根梅壽書記長、共産野委は古取美古家院議員、宮里政秋議員、宜野湾市は大

城幸助役らが抗議、宮里と今回の事故を、住宅密

集地域から約五百メートル、普天間第二小学校から約八百メートルに離れておらず、大惨事になる恐れがあった」と指摘。その上で、「住民地域に近いところに、普天間基地の中心部に軍用航空機が墜落している。普天間基地の危険な状況が改めて明らかになった」として、同基地の即時撤去を求めた。

これに那覇防衛施設局の草間勝次長らは、「事故はC-146ヘリが地上すれすれで低空移動中、起きた」と説明。その上で、「住民地域に近いところに、普天間基地の中心部に軍用航空機が墜落している。普天間基地の危険な状況が改めて明らかになった」として、同基地の即時撤去を求めた。

1992年（平成4年）10月23日（金）

# 基地撤去と訓練中止せよ

## 宜野湾市臨時議会 抗議決議文を採択

### 米軍ヘリ事故

【宜野湾】住海隊普第二小学校の比嘉岳雄校長は、決議と意見書は、今回の天間基地でのOH46輸送へやPTAの当間古満会屋のり事故で、宜野湾市議会仲役員五人は同日午前、桃原村春信議長は二十三日午前、臨時議会を開き、事故に厳しく対処するよう要請に抗議する決議と事故防止に抗議する意見書を全会一致で採択した。一方、普天間

飛行訓練の即時中止、普天間基地の早期返還を求めて市議会軍特委の知念清栄委員長ら十六人は午後から同決議を携えて那覇防衛施設局、県知事、県議会議長、米国防務省に抗議と要請行動を展開。総務大臣、外務大臣、在日米軍司令官らに送付する。

また、普天間第一小の当間会長らは二十三日の選考委員会で決めた要請文を桃原市長に手渡し、学校の移転要請を保留し、現在の学校敷地の整備拡張を決議したがヘリ事故があるため児童にもいつ危険があるか、憂慮にたえないと返答して厳しく対応するようを要請した。

## 市挙げて抗議行動

### 宜野湾市 来週、市民総決起大会

【宜野湾】普天間基地で、前米連軍々々にも開催する「OH46輸送ヘリ事故で抗議と表明した。抗議総決起大会は市民各層を網羅したもので、二十七日午後二時から宜野湾市役所前で開催する。民間地帯での大事になりにかねて、市民一人ひとりが立ち上がり、訓練中止、基地撤去を強く訴える。市挙げての抗議大会はOVブロンコ墜落事故があった一九八〇年十月に行政、革新、労組、民主団体などを中心にしたのがあった。市民各層を取り入れた大会は初めて。

【宜野湾】普天間基地で、前米連軍々々にも開催する「OH46輸送ヘリ事故で抗議と表明した。抗議総決起大会は市民各層を網羅したもので、二十七日午後二時から宜野湾市役所前で開催する。民間地帯での大事になりにかねて、市民一人ひとりが立ち上がり、訓練中止、基地撤去を強く訴える。市挙げての抗議大会はOVブロンコ墜落事故があった一九八〇年十月に行政、革新、労組、民主団体などを中心にしたのがあった。市民各層を取り入れた大会は初めて。

1992年（平成4年）10月28日（水）

# 基地ある限り不安 撤去訴え



普天間基地の撤去を訴える市民

## 宜野湾市 緊急市民大会

### 保革市議が同一歩調

宜野湾市の米海軍陸軍普天間航空基地で起きたヘリコプター事故に抗議する緊急市民大会。実行委員長・桃原正廣市長が十七日午後、同市役所前で開かれ、P・T・Aや婦人連合会ら約五百人の市民が普天間基地撤去を訴えた。基地問題で市民の各層が参加して抗議会を開いたのは今回初めて。大会では夜間飛行の即時中止（事故原因の公表）などを求めた抗議決議を採択し、市役所前から普天間基地ゲートまでデモ行進した。桃原市長は二十八日午前、在沖米総領事館を通じて在沖米四軍副司令に抗議を述べた。

（開演20分）

## 夜間飛行中止の原因の公表決議

### 米軍ヘリ事故

市民の方安心して暮らす中「きつこ」を呼ぶ事故が起きたことに強い怒りを感じるといふ内容の抗議決議を参加者全員で採択した。その後、ゲート前までデモ行進し、誓い恐布と不安を持ちながら生きている私たちは、過去何回も抗議したが、再び事故が起きたことに強い怒りを感じるといふ内容の抗議決議を参加者全員で採択した。その後、ゲート前までデモ行進し、誓い恐布と不安を持ちながら生きている私たちは、

主催者代表として桃原市長は「基地があるために起こるべくして起きた事故。離れていけば普天間基地も基地がある限りこれからも起こる不安がある。世界情勢が危惧の状況に向かっている状況の中の基地存続はなんとなほうかい」を述べ、普天間基地の早期返還を求めた。

同市P・T・連合会、老人

クラブ連合会、市婦人連合会の会長らが、騒音公害や夜間飛行、住居地上空での徘徊など、基地被害の実態を報告。「住居被害の向上のためにも基地はいりません」

普天間基地の早期返還を申し入れ、上原助氏が外務省に助米院議員は十七日、外務省に佐藤行雄北局長を訪問、県道04号越え美浜海軍演習の即時廃止と普

天間基地の早期返還を求めると申し入れた。上原氏領選挙後の新体制等については、尚早に米軍基地の早期返還を求めたいと述べた。

1992年（平成4年）10月29日（木）

# へり事故に抗議決議

## 県議会基地 特別委 臨時議会で採択へ

普天間航空基地でのへり事故を機に、県議会は二十八日午後、米軍基地関係の県の対応をたじ、高山特別委員会（喜久山盛徳委員長）を開設し、県からの「普天間航空基地の返還」を求め、米軍基地の縮小や併合、米空母連司令部の文書で基地の縮小や併合を促す旨の文書を提出した。また、高山公署は住宅地、学校に近い危険な事故と認識し、應援基地司令官に原因究明と再発防止を要請し、基地問題には政治解決も

た。従来より一歩踏み込んで「と回答した。委員から「普天間（基地）問題に関する県、防衛施設局、米軍の協力を要する」と確認し、今年中に開催する「と確認し、「一定期間準備を自揮し、撤去の請書の自筆を求め、報告」を求めた。

基地問題には政治解決も

重要だが、委員から指摘されたこととして、県側は県道104号線を美軍砲撃演習に對して自然破壊の観点

1992年（平成4年）11月24日（火）

## 市民大会の決議手渡す

宜野湾市長

から中止めを要する。市民大会でも検討している」とした。

十八日、那覇防衛施設局で尾成成弘施設部長に、二十七日開かれたへり墜落に抗議する緊急宜野湾市民大会での決議（事故原因の公表、夜間飛行の中止、米海兵隊手渡す。西尾施設部長は「基地の管理問題にはできる限りの努力をしている。」と述べた。

桃原正賢宜野湾市長は「普天間航空基地で発生した海兵隊ヘリコプター事故を批判

し、「いまだ市民が安心して暮らせない地域があった。いいのか疑問だ」と米軍基地の撤去を訴えた。

## 普天間第二小問題で特別委

宜野湾市議会

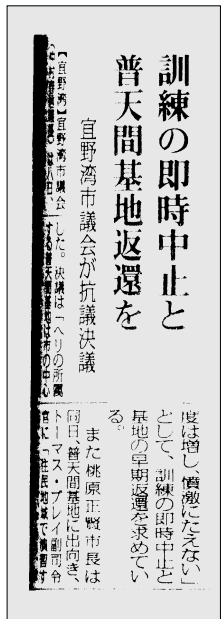
【宜野湾】宜野湾市議会（中村春信議長）は二十日の臨時議会で「普天間第二小学校併合問題に関する調査特別委員会」を設置した。

同委員会は普天間第二小の現在地での全面増設案、学校PTAが移転から現在地での増設案に決議したこと。委員会は与野党十八人を受け、議会で構成する。

臨時議会は市、市、同増設案した場合の仮あい、小、幼、幼稚園の校舎耐震補修、安全面を派生、力調査委託五百九十九万、調査するが目的。同PTAから議案を提案した。

1993年（平成5年）12月9日（木）

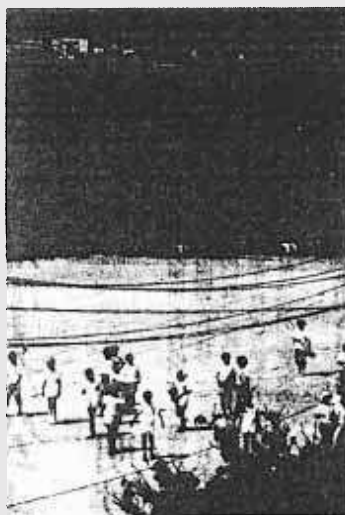
1993年（平成5年）12月28日（火）



普天間基地の 一部返還問題

# 米軍司令官が前向き姿勢

普天間第二小 敷地の拡張整備 前進



軍用地の返還の見通しが出て整備拡張がされる可能性が高い普天間第二小 敷地

米軍司令部から受けた。市に、合同委員会への返還手続を促進している軍用地の規模が委員会に取り上げられる可能性が高い。

桃原正賢市長は二十七日午後、基地司令官を訪ねた後、「いい方向に進んでいる」とコメントした。

同校の拡張整備は軍用地返還が不可欠だっただけに、合同委員会への返還手続の進展は関係者に朗報となっている。同校の顧問吉高PTA会長は二歩前進で喜樂にならないほどだ。会員が一丸となって取り組んだ成果が実るところだ。会長は「安全面に配慮した学校建設してほしい」と話している。

【宜野湾】普天間第二小 合同委員会に向けての返還の連絡を那覇防衛施設局から受けた。これを受けて同問題の軍用地返還問題で、第一海兵航空司令官が前向きに、年明けにも那覇防衛施設局に正式に返還要請を

行い、合同委員が協議して取り上げる見通しとなっている。PTAがこれまでの移転決議を断念し、現在での拡張整備を決めた。これを受け同年十月からは敷地拡張のため、同市は隣接する基地からの約一月二十平方メートルの返還を非公式に防衛施設局を通して米軍に要請。これまでに施設局などとの内部調整を進めてきた。合同委員会に向けては、基地司令官の意向が重視され打診が続けていたが、二十七日までに（委員会への返還手続きに）司令官が前向きに回答したとの通

1994年（平成6年）4月9日（土）

壁落事故  
ヘリ

## 訓練即時中止せよ

宜野湾市長  
会  
防衛施設局に抗議

普天間基地のCH46型ヘリ「覚めやらぬ」に、またヘリ墜落事故を重視した宜野湾市の桃原正賢市長、仲村春信市議会議長ら代表十人は八日午後、那覇防衛施設局に染藤忠之局長を訪ねて抗議し、事故原因の公表と再発防止訓練の即時中止、基地の早期返還を申し入れた。仲村議長は臨時議会で採択した決議、意見書を読み上げた。F15戦闘機の墜落事故で県民の不安と恐怖が

これに対し染藤局長は「県民に不安を募らせておられ残念。事故は緊急着陸時にバランスを崩して起きた」と聞いて、「二度も起きないよう県民の意向にそって努力したい」と述べた。

委員会話し合う問題であり、日本側に連絡するよう努力したい」と述べた。

1994年（平成6年）9月5日（月）

桃原宜野湾市長  
羽田外相に要請  
米軍機墜落事故で

【東京】普天間飛行場で発生したCH46型ヘリ墜落事故で、宜野湾市の桃原正賢市長らは十日、外務省に羽田外相、防衛施設局に鶴田主席連絡調整官などを訪ね、「度重なる事故は、結局は基地があるから」として、速やかな事故原因の公表と同飛行場の早期返還を強く申し入れた。これに対して羽田外相は、「気持ちよくわかる。不安のないよう県民の意向にそって努力したい」と答えた。

要請には、市長ほか仲村春信市議会議長、知念清栄基地関係特別委員長、知花眞正同副委員長ら議会メンバーも参加。「相次ぐ事故で県民は怒りに燃えているのに、米軍は訓練を繰り返すことがない。基地返還に向けて、絶えまない努力をすべきだ」として、嚴重に抗議する旨を事故原因の公表や再発防止、住民地域での飛行訓練の即時中止のほか、普天間飛行場の早期返還を要請する旨を述べた。




1994年（平成6年）9月12日（月）

# 市議会議員選当選者

## 宜野湾市

(定数31・立候補38)

 宇江城昌徳 55 無所属 現 2 ①車庫 用園の上原 ①久米尚高 卒	 我如古盛英 45 無所属 現 1 ①農業 ②長田③琉球 大卒	 恩河 徹夫 53 現 5 ①団体 ②志良志 ③高市水産 高卒	 大城 政利 43 現 3 ①団体 ②野鷹 ③中国大中退	 宮里 真吉 57 無所属 現 3 ①手地 ②泊③沖繩 大卒	 大城 真淳 54 無所属 現 6 ①薬剤 ②師③佐藤下 大卒	 安次重 修 38 無所属 現 3 ①会社 ②志良志 ③志田補選 大卒	 新垣 清彦 44 無所属 現 1 ①農業 ②喜友名③沖 繩 大卒	 伊波 善雄 61 無所属 現 3 ①会社 ②我如古 ③野鷹高 卒	 伊波 廣助 50 無所属 現 2 ②我如古③沖繩 大在学中	 伊波 敏男 49 無所属 現 2 ①大山 ②中部農林 高卒	 前川 朝平 49 無所属 現 4 ①大崎 ②名③沖繩 大 学中退	 伊波 正行 58 無所属 現 4 ①大山 ②野鷹高 卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 2 ①大山 ②中部農林 高卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 4 ①大崎 ②名③沖繩 大 学中退	 伊波 敏男 49 無所属 現 4 ①大崎 ②名③沖繩 大 学中退	 伊波 敏男 49 無所属 現 1 ①自営業 ②新城③野鷹高 卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 4 ②新城 ③沖繩大短 大卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 1 ②我如古 ③琉大短大 卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 4 ②農業 ③東洋大 卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 3 ①会社 ②我如古 ③野鷹高 卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 2 ②我如古③沖繩 大在学中	 伊波 敏男 49 無所属 現 3 ①会社 ②我如古 ③野鷹高 卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 4 ①大崎 ②名③沖繩 大 学中退	 伊波 敏男 49 無所属 現 7 ①団体 ②野鷹 ③名浦英語学 校	 伊波 敏男 49 無所属 現 1 ①会社 ②志良志 ③中部農林 高卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 4 ②神山 ③沖繩高 卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 2 ①農業 ②大崎 ③伊波 工業知大卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 2 ①農業 ②大崎 ③伊波 工業知大卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 3 ②大崎 ③京都外 大中退	 伊波 敏男 49 無所属 現 3 ①会社 ②志良志 ③中央大 卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 2 ②宜野 湾③中部農 林 高卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 6 ②無天 ③政治大 中学校卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 1 ①自営業 ②新城③野鷹高 卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 4 ②神山 ③沖繩高 卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 2 ①農業 ②大崎 ③伊波 工業知大卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 4 ①自営 ②農業 ③大阪府立大 工業知大卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 3 ②大崎 ③京都外 大中退	 伊波 敏男 49 無所属 現 3 ①会社 ②志良志 ③中央大 卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 2 ②宜野 湾③中部農 林 高卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 1 ①自営業 ②新城③野鷹高 卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 4 ②新城 ③沖繩大短 大卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 1 ②我如古 ③琉大短大 卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 4 ②農業 ③東洋大 卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 3 ①会社 ②我如古 ③野鷹高 卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 2 ②我如古③沖繩 大在学中	 伊波 敏男 49 無所属 現 4 ①大崎 ②名③沖繩 大 学中退	 伊波 敏男 49 無所属 現 4 ①大崎 ②名③沖繩 大 学中退	 伊波 敏男 49 無所属 現 1 ①自営業 ②新城③野鷹高 卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 4 ②新城 ③沖繩大短 大卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 1 ②我如古 ③琉大短大 卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 4 ②農業 ③東洋大 卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 3 ①会社 ②我如古 ③野鷹高 卒	 伊波 敏男 49 無所属 現 2 ②我如古③沖繩 大在学中	 伊波 敏男 49 無所属 現 4 ①大崎 ②名③沖繩 大 学中退	 伊波 敏男 49 無所属 現 4 ①大崎 ②名③沖繩 大 学中退
--	--	--	--	--	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	---	--	---	--	--	---	--	--	---	--	---	--	--	---	---	--	---	---	--	---	---	--	--	---	---	--	---	--	--	---	--	--	---	--	---	--	--	---	--	--

1994年（平成6年）9月12日（月）

宜野湾市

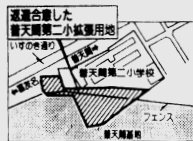
(定数31・立候補38)		選挙最終	
当	大城 政利 43	公明	現 2327
当	恩河 徹夫 53	公明	現 2233
当	我如古 盛英 45	無	新 1401
当	宇江城 昌健 55	無	現 1282
当	新垣 清涼 44	無	新 1253
当	安次富 修 38	無	現 1215
当	大城 真淳 54	無	現 1208
当	宮里 真吉 57	無	現 1186
当	伊波 善雄 61	無	現 1176
当	平安座 唯雄 49	無	現 1156
当	又吉 清義 36	無	新 1140
当	上江洲 安儀 58	無	現 1125
当	屋良 朝秀 57	無	新 1124
当	伊波 廣助 50	無	現 1109
当	宮城 邦雄 63	無	現 1096
当	前川 朝平 49	無	現 1095
当	伊佐 敏男 49	無	現 1079
当	吳屋 正行 58	無	現 1046

当	知念 忠二 60	共産	現 986
当	佐喜真 博 55	無	現 978
当	天久 嘉栄 60	無	現 976
当	佐喜真 祐輝 53	無	現 972
当	名城 宏 59	無	現 957
当	玉那 繁 56	無	現 934
当	石川 覇 61	無	現 923
当	知花 眞正 55	無	現 917
当	伊佐 雅仁 58	無	現 914
当	宮城 善正 63	無	現 913
当	知念 吉男 49	共産	現 831
当	知念 清栄 47	無	現 789
当	宮城 幸男 64	無	現 783
当	島田 政弘 49	無	現 761
当	平良 充博 38	無	現 738
当	吳屋 宏 35	無	現 692
当	本永 浩 53	無	現 618
当	金武 正信 54	無	現 287
当	砂川 清徳 54	無	現 228
当	与那覇 朝信 56	無	現 211

1994年（平成6年）12月16日（金）



基地の隣にある普天間第二小。フェンスの向う側に拡張予定地



普天間基地

一部返還を合意

95年度以降 第二小の用地拡張

【東京】宜野湾市普天間第二小学校の整備拡張に伴う普天間飛行場の一部返還要請に対し、十五日開かれた自衛隊委員会、同小のラン下地用地として、飛行場の一部約九千平方メートルの返還について合意した。返還時期は、一九九五年年度実施されるフェンス撤去と排水路等の工事終了後となる。

同飛行場の一部返還は、九〇年六月の合同案で、その後、百米間で引き続き検討していったところ十八事業・十施設の一つ。同小では、敷地の狭あいさる雑音被害、ヘリ事故などの危険性から学校の移転を検討したが、用地取得面で断念。現在地での整備拡張が決まった。その後、同小PTA決議を受けた宜野湾市が防衛施設庁や沖縄防衛庁に対し、隣接する飛行場の一部を返還し、

「子供たちに伝えたい」  
校長ら突然の朗報喜ぶ

【宜野湾】地元の宜野湾市は事前に合同案の日程を知らされておらず、突然の朗報に驚き、校長ら

整備拡張すべく要請昨年十一月には、同飛行場

司令官が前向きな回答を那覇防衛施設局に伝えていた。返還時期について、防衛施設庁は「早めに着手したいが、埋蔵文化財やフェンスなどの調査、設計に約一年かかる」としている。

市長ら幹部が記者会見し、「要請がなされ、うれしい」と喜び、学校では比嘉島雄校長が、あす校内放送で子供たちに伝えたい。いいニュースです」と語った。同小（六百三十八人）は、校舎を取り壊し、九六年四月をめどに現在地で新築工事を進めている。現在、約五百名、離れた軍用地内にプレハブ校舎建てて学んでいる。現在の敷地は、芝液容量二万三千九百一十平方メートルのうち、約一万二千平方メートルが、返還後は八七・六％にあたる約二万一千平方メートルになる。

1994年（平成6年）12月21日（水）

場外券売り場  
事業には反対  
宜野湾市議会で市長

【宜野湾】二十日の宜野湾市議会（伊佐雅仁議長）で、公営ギャンブルの場外券売り場が同市大山の埋め立て地に計画されている問題が取り上げられ、桃原正賢市長は事業には同意しないと答弁した。上江洲安織議員の一般質問に答えた。

計画は、大山の海岸沿いの埋め立て地に、競輪・競艇・競馬いずれかの場外券売り場を建設するもので、那覇市内の業者が事業主。都市計画法上の開発許可申請など正式な手続きの前の事前協議として、十月末に市に計画書が提出された。

宜野湾市には一九八九年から同趣旨の場外券売り場計画が、今回を含め三回、打診されているが、いずれも「意見を表明し去来している」と答えている。

1994年（平成6年）12月24日（土）

軍転法は  
原案で制定を  
宜野湾市議会在議決

【宜野湾】宜野湾市議会（伊佐雅仁議長、三十一人）は定例会最終日の二十二日、先の国会で継続審議になった軍用地転用特別措置法について、議員提案の原案で制定することを要請。首相、大臣のほか、県選出議員、沖縄問題特別委員

1995年（平成7年）2月12日（日）

# 普天間飛行場の返還 知事訪米の柱に

## 市長も同行を検討

### 時期早め5月末に予定

米軍基地問題で県は、大田知事の今年の訪米要請には普天間飛行場（宜野湾市）の返還を前面に押し出す方針だ。飛行場の跡利用計画にすでに着手している桃原正賢市長も訪米同行に意欲をみせている。これまでの知事訪米で足並みがいまいちとつぞろわなかった市町村長も今年は同行を前向きに検討。地域における基地問題への取り組みが今年は一層活気を帯びてきた。

今年の知事訪米は地方議受け皿づくりが進んでいにも着手する意図で、市側「脳会談で両国とも解決に向けて努力することを表明するに取らなければならない。なな天きな前進をみせた。訪米同行に積極的だった

普天間飛行場の返還要請の障害で許されないと、助飛行場の返還、興道104号越え実弾演習の中止のいわゆる三事業に、今年も大府に働きかけ、先の日米首

普天間飛行場の跡利用計画の総仕上げに取らなければならない。なな天きな前進をみせた。訪米同行に積極的だった

普天間飛行場の跡利用計画の総仕上げに取らなければならない。なな天きな前進をみせた。訪米同行に積極的だった

普天間飛行場の跡利用計画の総仕上げに取らなければならない。なな天きな前進をみせた。訪米同行に積極的だった

普天間飛行場の跡利用計画の総仕上げに取らなければならない。なな天きな前進をみせた。訪米同行に積極的だった

普天間飛行場の跡利用計画の総仕上げに取らなければならない。なな天きな前進をみせた。訪米同行に積極的だった

普天間飛行場の跡利用計画の総仕上げに取らなければならない。なな天きな前進をみせた。訪米同行に積極的だった

普天間飛行場の跡利用計画の総仕上げに取らなければならない。なな天きな前進をみせた。訪米同行に積極的だった

普天間飛行場の跡利用計画の総仕上げに取らなければならない。なな天きな前進をみせた。訪米同行に積極的だった

普天間飛行場の跡利用計画の総仕上げに取らなければならない。なな天きな前進をみせた。訪米同行に積極的だった

1995年（平成7年）5月13日（土）

**普天間飛行場の撤去を**

**宜野湾市議会が要請決議**

米軍普天間飛行場の撤去要請を決議した宜野湾市議会（伊佐雅仁議長）の庁に又吉長雄知事公署長に強く求めるよう申し入れた。

同市議会の撤去要請決議はこれで四回目。十日の議会で決議した。

決議は「飛行場は市の中心部にあり、都市開発に大きな障害となっている。昼夜の離発着訓練による爆音で市民生活、児童・生徒の教育環境は厳しい状況にある」と指摘。市当局は跡利用計画を策定中であり、飛行場の早期撤去を求めている。

伊佐議長は「ぜひ、求ス」三事業として県も米面政府に強く働き掛けてほしい」と対応を求めた。

又吉公署長は「市民生活の利便や経済活動に支障をきたしている」と認め、県としても要請を撤回する意向を述べた。

1995年（平成7年）7月1日（土）

**宜野湾市議会が騒音激化に抗議**

**普天間基地と防衛施設局に**

同基地では、トーマス・キング司令官が対応。伊佐議長らは市民は持ち入り近隣の浦添、中城からも住民の苦情が絶えないうと訴えた。伊佐議長による、キング司令官は通常より激しい訓練状況になっていると認めながら、上司に抗議の趣旨を伝えると答えることになった。

県、国、在沖米軍でつくる三者連絡協議会で午後十時以降の飛行を避けるの努力目標があることについては一知らぬ。海兵隊は十一時までに理解して、普天間基地の騒音について、高野湾市議会、伊佐雅仁議長は三日、同基地と那覇防衛施設局に抗議し、夜間訓練の中止を申し入れた。

施設局への申し入れに対して、佐伯憲通施設部長は二者協の努力目標を守るよう米軍に申し入れた」と答えた。

1995年（平成7年）8月16日（水）

**ヘリ中隊配備に反対**

**宜野湾市議会決議**

【宜野湾】米海兵隊普天間基地に中型（シコク）ヘリ中隊が新たに常駐配備された問題について、高野湾市議会（伊佐雅仁議長）は十四日の臨時議会で、反対決議をした。同じ決議で北中城村でのヘルメット落着事故なども抗議した。日本政府のほか、在沖米四軍種指挥官らもあつて。

1995年（平成7年）10月18日（水）



地元から盛り上げようと結成した県民総決起大会を成功させる  
宜野湾市実行委員会＝市役所

## 成功させる実行委結成 宜野湾

【宜野湾】二十一日の県内で結成した、同業組合も  
民総決起大会に向けて、地元の市内の二十九団体で構成  
元宜野湾市は前正市長、成、会合では各組織で参加  
が呼びかけ、実行委員を呼び掛けることを申し合  
勢。自治会の放送設備で大会開催を知らせるなどの取  
り組みを決めた。

委員会を十七日、市役所に入っている。

伊佐雅二市議会議長が副  
実行委員長で、市出身の三  
員を顧問とする役員態

1995年（平成7年）11月1日（水）

普天間飛行場の  
早期返還を要請  
宜野湾市議会

【東京】宜野湾市議会の  
伊佐雅二議長は二十一日、  
沖繩開発庁と総理府を  
訪ね普天間飛行場の早期返  
還を要請した。高木正明開  
発庁長官は「基地返還は、  
いつまでという期限付き  
で作業させなげき」との考  
えを示しつつ、沖繩開発庁  
としても返還に向けての側  
面支援を約束した。

高木長官は、沖繩問題に  
ついて関係各々が協力して  
解決に努力するとの決意を  
示すと同時に、「沖繩県民と  
開発庁は家族の関係。私は  
そのつもりで任事したい」と  
述べた。

要請日程を終えた伊佐議  
長は、「大規模要請団を組織  
しての直訴は初めてだが、  
関係省庁の感觸は良かった」、  
前川朝平基地関係委  
員長は「基地返還後の区画  
整理などの財政援助につ  
いても、大蔵大臣が理解を  
示した。心強い成果があっ  
た」と評した。

1996年（平成8年）4月15日(月)

# 国に財政支援求める

## 宜野湾市 軍転法の不備指摘

【宜野湾】普天間飛行場の全面返還の決定を受けて宜野湾市は十五日午前十時から臨時市議を開き、跡地利用に向けての対応をさらに強化することを決めた。桃原正賢市長はいよいよ普天間飛行場が返還されることになった。今後は基地政策室を中心に跡地利用計画の具体的な作成など、さらに強力に取り組んでほしいと述べた。

市議では担当部課から「現行の軍転法は地主補償支援などと併せ、強力で改めた。期間中の開発ができないなど、不備な点が多い。財政ある」などの意見が出されは返還されるが、露手納などを決めた。

桃原市長は「普天間基地に開かれる普天間基地についてのシンポジウムへ向け、取り組みを強化する」と述べた。

さらには市議では、十九日に開かれる普天間基地について「苦難の道を歩んでる。われわれは謙虚な気持ちで対応しよう。軍転法や国の財政支援などは全真的な課題であり、県とともに国に働き掛けていきたい」と述べた。

【宜野湾】普天間飛行場の全面返還の決定を受けて宜野湾市は十五日午前十時から臨時市議を開き、跡地利用に向けての対応をさらに強化することを決めた。桃原正賢市長はいよいよ普天間飛行場が返還されることになった。今後は基地政策室を中心に跡地利用計画の具体的な作成など、さらに強力に取り組んでほしいと述べた。

市議では担当部課から

1996年（平成8年）4月18日(木)

### 基地返還容認 国の支援要請

普天間の地主が議会で  
【宜野湾】宜野湾市軍用

基地政策室は「普天間飛行場の返還が決まり、事態は大きく変わった。これからは軍転法の見直し、跡地利用への国の支援などについて、農家の皆さんにも協力をお願いしたい」と要請した。

同地主会は三月に提出した請願について、早期全面返還反対の部分の削除を申し入れた。

基地政策室は「普天間飛行場の返還が決まり、事態は大きく変わった。これからは軍転法の見直し、跡地利用への国の支援などについて、農家の皆さんにも協力をお願いしたい」と要請した。

同地主会は三月に提出した請願について、早期全面返還反対の部分の削除を申し入れた。



1996年（平成8年）4月23日（火）

**財政支援を  
国に要求へ**

宜野湾市議会  
あす臨時議会

【宜野湾】宜野湾市議会は二十四日午前、臨時議会を開き、「普天間飛行場の返還に伴う国の財政措置を求め意見書」を採択することを決めた。

二十二日開かれた基地関係特別委員会（前川朝平委員長）で意見書の内容などを決めた。跡地利用への国の財政措置、地主への補償、特別立法、基地従業員の身分補償などを国などに求める。

1996年（平成8年）4月25日（木）

**普天間返還  
財政支援を**

宜野湾市議会が意見書

【宜野湾】宜野湾市議会は二十四日午前十時から臨時議会を開き、米軍普天間飛行場返還に伴う国の財政措置等に関する意見書を全会一致で可決した。議会では、近く代表団を東京に派遣して要請行動を展開する。

意見書では、返還される普天間飛行場について「本市は跡地利用を『アジアの国際交流拠点・宜野湾』として、既存のコンベンションセンター・シティ構想や国際学園都市構想と連動させていく。全国総合開発計画や県の振興方策を踏まえ、地主をはじめ市民、県民ニーズにこたえる諸機能を導入する」としている。また「今回の全面返還については、過去に例を見ない四百八十坪に及ぶ広大な土地である。国の積極的な財政支援が市、地主の強い願いである。返還に伴う軍雇用員の身分保障についても適切に措置してほしい」と強調している。

さらに「返還跡地の開発は国の財政支援のもと、計画的、段階に推進されるべきである」と指摘。「返還跡地の利用促進に関する特別法の制定とともに、関係地主に対しては跡地利用されるまでの間、国の責任において完全な補償を行ってほしい」とも訴えている。

1996年（平成8年）5月1日（水）

**国の財政支援を**

宜野湾  
市議会 施設局、県などに要請

普天間飛行場の跡地利用について既存の法律で対応できないかを検討している」と、議長ら代表は三日午後、沖縄総合事務局、那覇防衛施設局、県を訪れ、国の財政措置や軍転法見直し、特別立法、軍雇用員の身分保障などを要請した。

那覇防衛施設局では代表らが斎藤勝施設企画課長に「返還は歓迎だが、現行の軍転法では市や地主は多大な損失を受ける。跡地利用に向け国の積極的な財政支援を」と要請。斎藤課長は「要請の趣意を本庁へ伝える」と答えた。

県では花城司長企画開発部長が特別立法について「財政、制度面の問題について」

1996年（平成8年）5月15日（水）

**基地跡利用で要請へ**

**宜野湾市議会代表より上京**

普天間飛行場の返還後の  
跡利用について特別法の制  
定が国の積極的な財政措  
置を求めている宜野湾市議  
会の代表は十四日、県選出  
国会議員や防衛施設庁、沖  
縄等に関する意見書」を採

編開発などへの要請のた  
め、那覇空港を東京向け出  
発した。同議会は四月十  
四日に「米軍基地普天間飛  
行場返還に伴う国の財政措  
置を求めている宜野湾市議  
会の代表は十四日、県選出  
国会議員や防衛施設庁、沖  
縄等に関する意見書」を採

人、出陣前の四月末で命  
佐藤は「昨年十月に那覇  
に行ってきたのは」乳へ普  
天間を返す」の要請だ。た  
が、今回は返還直下の動き  
で、跡利用のための法律を  
つくるよう要請する。タス  
クフォース（返還作業委  
員会）もスタートした。こ  
れは宜野湾市民、県民の  
将来を左右するもの、跡利  
用の財源にもなる」と強  
調した。

1996年（平成8年）5月15日（水）

**普天間返還  
国の財政支援を  
施設庁長官に要請**

**宜野湾市  
議会代表**

【東京】宜野湾市議会の  
伊佐雅仁議長ら代表団は十  
五日午前、防衛施設庁の諸  
富増夫長官を訪ね、普天間  
飛行場の全面返還の円滑な  
推進と跡地利用や地手補償  
について、国の財政支援を  
求めた。

要請は四月の臨時議会で  
の全会一致の決議を受けた  
もので、跡地利用の促進に  
支障とともに、軍用員分の  
身分保障の措置も訴えた。  
一行はその後、沖縄開発  
庁と建設省を訪れ、さらに  
十六日には宮邸と入蔵書に  
場が四百八十と前例的な  
要請を行う。

1996年（平成8年）5月16日（木）

# 特別法の制定を

普天間返還

宜野湾市 議会代表 跡利用で国に要請

【東京】普天間飛行場返還に伴う国の財政支援について関係省庁へ要請し宜野湾市議会の代表団（团长・伊佐雅一議長）に対し十五日、防衛施設庁と沖縄開

発庁は、返還計画や跡利用の促進に関する特別法の制定、地主への完全補償に向けた軍転法見直しなどの財政支援と、軍雇用員の身分保障の措置を申し入れた。

防衛施設庁の諸富増夫長官は、跡地利用の促進に向けて返還計画を練る過程で、問題を集約し普天間普返還作業委員会で検討していく、困難が予想されるが、真剣に取組むと述べた。

一方、沖縄開発庁の岡部三郎長は、跡地利用の窓口として地元との意見調整に積極的な姿勢を示した。

「十一月のS.A.C.O最終報告に向けて返還計画を練る過程で、問題を集約し普天間普返還作業委員会」で検討していく、困難が予想されるが、真剣に取組むと述べた。

岡部長官は、普天間飛行場

と答えた。

「前向きな発言」と評価し、基地の開発では敷居屋敷に

は、一〇％で、広大な普天間

1996年（平成8年）10月4日（金）

# 宜野湾市議会も決議へ

【宜野湾】宜野湾市の桃原市長は三日午後、米海兵隊普天間基地にマク・ミッド大尉（後方支援担当学校補佐）を訪ね、名

十日に日、46型ヘリが普天間第二小学校の近くで墜落し、あわや大惨事になることになった。過去に何度かも抗議してきたが、一向に改善されていない。県民の

忍耐にも限度があり、これ以上の米軍の横暴は許せない」と厳しく抗議した。これに対し、ミッド大尉は「大変申し訳ない。ヘリの部品の故障で緊急着陸せざるを得なかった。抗議については上司に伝えている」と述べたという。

1996年（平成8年）10月12日（土）

## ヘリ不時着で 抗議決議

【宜野湾】宜野湾市議会（伊佐雅仁議長）は定例会最終日の十一日、名護市嘉陽の「米軍ヘリコプター不時着事故に対する抗議決議を賛成多数で可決した。決議では「不時着現場は住宅地域で、小学校に隣接しており、一歩傾けば大惨事になっていた」と指摘した。

1996年（平成8年）10月13日（日）

## 桃原市長ら 減俸処分

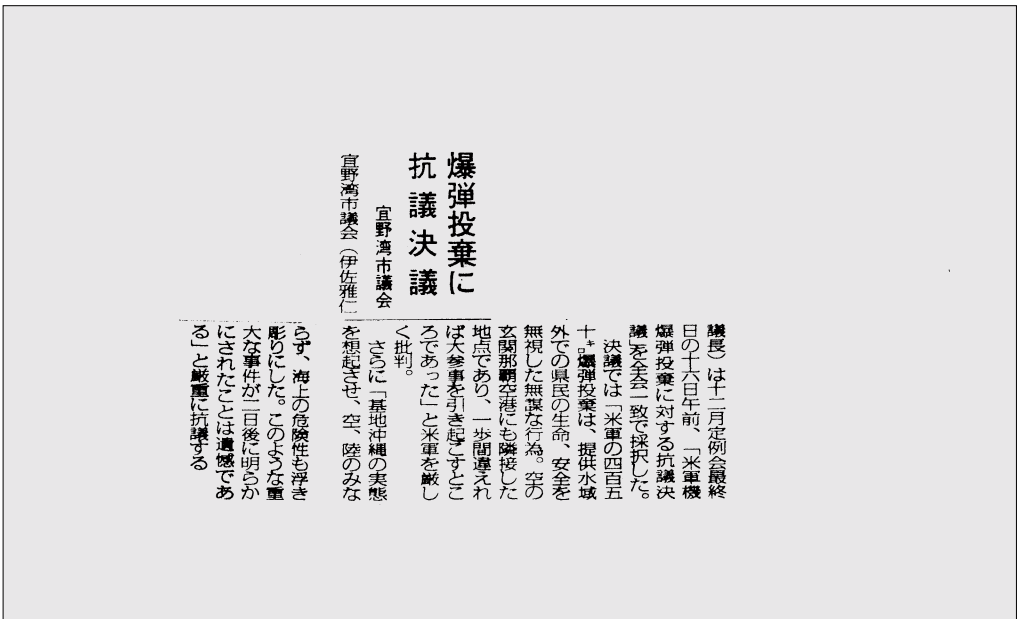
【宜野湾】宜野湾市議会（伊佐雅仁議長）は定例会最終日の十一日、桃原正實市長ら市三役をそれぞれ十分の一減俸処分一方とする条例改正を賛成多数で可決した。地方自治法九六条第一項八号による「二千平方メートル以上あるいは五千万円以上の土地の取得は議会の同意を必要とする」と条例で定められている。しかし、同土木建設部ではこの条例を廃止し、新設の長田小学校建設用地（十一筆、合計八千七百五十四平方メートル）を六億八千三十三万円で議会の同意を得ずに取得していた。行政ミスに気付いた市長らは「行政に瑕疵（かし）が、欠点があった」として三役の減俸処分の条例改正を提案。定例会で市長と議会に謝罪し、あらためて議会の同意を得た。

1996年(平成8年)12月3日(火)



国道58号との高低差が52mもある急傾斜地が返還されるキャンプ瑞穂賣—宜野湾市喜友名

1996年(平成8年)12月16日(月)



1997年（平成9年）12月11日（木）

### 飲酒運転防止を決議

宜野湾市議会

【宜野湾】十一月定例会（伊佐雅仁議長）は八日、会期中の宜野湾市議会「飲酒運転を防止する宣言

決議」を全会一致で可決した。宜野湾管内では八日現在、十四人が交通事故で亡くなっており、昨年一年間の八人を大體に上回る最悪の事態になっている。中でも飲酒運転による死亡事故の割合は四五・四％と高い。宣言では「飲酒運転による重大事故の根絶、安全で住みよい交通社会づくりを目指す」としている。

1997年（平成9年）12月24日（水）

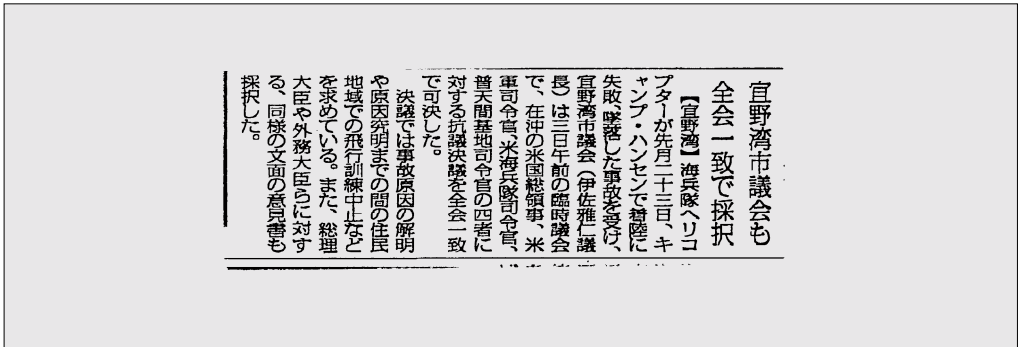
### 飲酒運転をなくそう

宜野湾市議会チラシ配布  
【宜野湾】十一月定例会で「飲酒運転撲滅宣言」を全会一致で可決した市議会

（伊佐雅仁議長）は十七日、同市普天間三差路や真栄原交差点付近で飲酒運転をなくそうと、呼び掛けるチラシをドライバーらに配布した。  
チラシ配布には議員のほか、比嘉盛光市長をはじめとする市幹部、宜野湾（阿良吹）署長、宜野湾地区交通安全協会などから約七十人が参加した。  
宜野湾管内では今年、十七日現在で十四人が交通事故で死亡しており、昨年一年間の八人を大體に上回る最悪の事態になっている。

チラシは、千五百枚を用意、信号待ちで停車中のドライバーらに注意を促しながら手渡した。

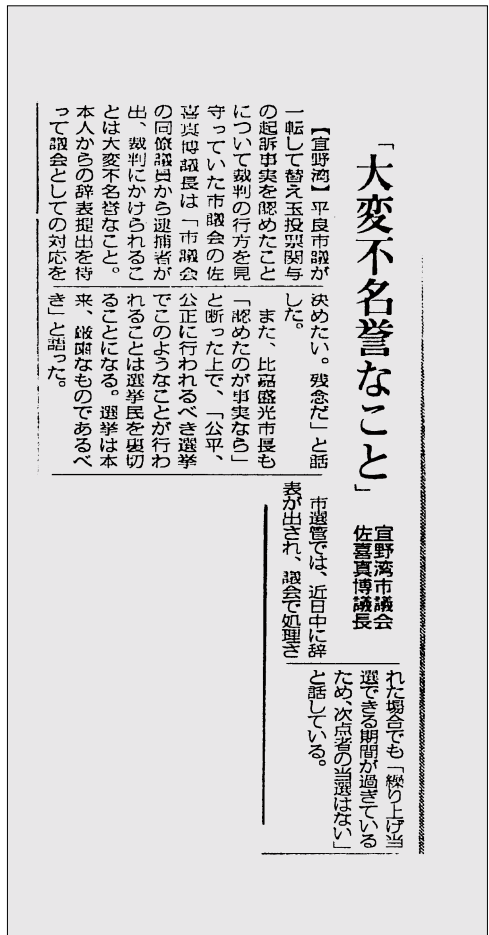
1998年（平成10年）8月3日（月）



1998年（平成10年）10月13日（火）



1998年（平成10年）12月15日（火）



1998年(平成10年)9月14日(月)

**宜野湾市**  
(定数三二)

無・現2 ①無職②喜友名二ノ二七ノ九③大沖国大④大	無・新 ①無職②大山西ノ四一五③中部商高④大	無・現7 ①自由業②政治家③大山大校④政治大	無・新 ①会社員②赤道一ノ四間高③野高	無・現4 ①政務役員②野高③野高④野高	無・現2 ①無職②喜友名二ノ二七ノ九③大沖国大④大

無・新 ①無職②宇地七二ノ一門学院③宇東寄真専	無・新 ①会社代表②大山③大山④大山	無・現3 ①調理師②上原一ノ三久島高④	無・現3 ①無職②大山③二ノ二一七④中	無・現3 ①無職②大山③二ノ二一七④中	無・新 ①会社代表②大山③大山④大山

**宜野湾市**

(開票率100%)

1709	上地 安之	39	無	現
1667	大城 政利	47	公明	現
1473	伊波 一男	37	公明	新
1402	伊佐 雅仁	62	無	現
1340	伊波 光雄	46	無	新
1340	島袋 亀次	45	無	新
1327	吳屋 勉	45	無	新
1314	宇江城昌健	59	無	現
1259	伊佐 敏男	53	無	現
1256	恩河 徹夫	57	公明	現
1192	桃原 功	39	無	現
1144	平良 博充	42	無	現
1142	新垣 清涼	48	無	現
1053	佐喜真祐雄	57	無	現
1010	平安座唯雄	53	無	現
999	我如古盛英	49	無	現
991	知念 吉男	52	共産	現
988	吳屋 宏	39	無	現
984	伊波 廣助	54	無	現
973	又吉 清毅	40	無	現
943	玉那覇 繁	60	無	現
939	伊波 智雄	65	無	現
921	上江洲安儀	62	無	現
918	仲村 春松	45	無	現
915	知念 忠二	64	共産	現
894	屋良 朝秀	61	無	現
860	澤岷 安政	61	無	現
860	知名 定光	58	無	現
830	佐喜真 博	59	無	現
821	天久 嘉栄	64	無	現
818	前川 朝平	53	自連	元
789	名城 幸男	68	無	現
782	石川 子	65	無	現
759	知花 真正	59	無	現
754	宮城 友寄	68	無	現
633	友寄 朝秀	59	無	現
493	江田 康秀	61	無	現
269	島尻 博光	45	無	現

無・現5 ①無職②真栄原一ノ二五ノ三④真栄原一ノ二	無・現5 ①自業②神山一ノ二③沖繩高④	無・現2 ①無職②喜友名二ノ二七ノ九③大沖国大④大	無・新 ①自業②真栄原一ノ二③沖一ノ一八〇④沖国大④城辺

無・現3 ①無職②我如古三ノ七二④沖	無・新 ①福祉法人理事②喜友名一ノ九〇六④中央高④喜友名	無・現2 ①共産②農科技工士③野高④一ノ一八〇④大	無・現2 ①花巻園芸②長田一ノ二一〇③孫球大④長

無・現5 ①自業②新垣一ノ三〇五③沖国大④真志	無・現4 ①会社役員②我如古一ノ四ノ八③野高④	無・現3 ①無職②宜野高③一ノ一五〇④野農林高	無・現2 ①農業②我如古一ノ三〇三③球大④我如古

無・新 ①会社員②伊佐三ノ一六ノ一九④伊	無・現2 ①自業②新垣一ノ二〇七③野高④中城村	無・現8 ①政務役員②野高③一ノ一四一④野高④江	無・新 ①会社員②赤道一ノ八三ノ三〇③熊本工業大④中

無・元 ①自連②元大謝名三ノ一〇ノ二③沖繩大中退④伊是名	無・現4 ①無職②大謝名四ノ一〇ノ一③京都外大中退④大謝名	無・現4 ①会社代表②真志喜一ノ二〇二③野高④真志喜	無・新 ①無職②志真志四ノ七ノ一③中野農林高④員



1999年（平成11年）7月22日（木）

# 県内移設容認 明確に

## 普天間基地返還

# 関係住民の合意前提

## 宜野湾市長 野党市議との面談で

【宜野湾】普天間飛行場の返還問題で、県内移設を容認し、移設先の早期決定を求める決議案の可決を目指している野党市議が保守系野党市議の代表は、十四日、比嘉盛光市長と面談、移設問題に対する市長の真意をただし、決議案の可決に向けて協力を求め、市議会が県内移設を含む決議案を可決すれば政府や県とつて大きな後押し材料になることは確実、会談のあと比嘉市長は「移設先について関係住民との合意が得られた場合、それには反対しない」と語り、県内移設について容認する姿勢を明確にし、議会の推移を見守る立場を強調した。

一方、共同記者会見を開いた平安座雄雄市議ら四会派の代表は、「飛行場の危険性を考えた場合、早期返還は市長とも一致する。執行部と議会が両輪となり、全会一致で可決する方向を模索したい」と述べ、与党会派と調整を図りながら、早い時期に臨時議会を開催したい意向を示した。移設場所については「早期返還が可能な場所、具体的な場所は県や国に早く決めてもらいたい」と願っている。

同問題をめぐっては、これまで「県内移設には基本的に反対」としてきた比嘉市長が二十日の本紙取材に対し「野党の選挙を強いる場面も考えられる」「移設先はたばこの煙草の普天間が連結され、その間に万が一事故でも起こった場合は責任が取れない



市長と野党市議の会談は十四日、野党市議十人への理解している」と語り、野中広務官房長官らと面談した際の政府側の反応と「移設実現」協力を求められたことを報告、決議案の可決へ市長の協力を求めた。

返還後の跡地利用について平安座議員らは、「市や県だけで取り組める問題ではなく、振興策については、国がやっていた

普天間飛行場の県内移設をめぐり、市議会野党代表と話し合う比嘉市長（左端）廿二日午前九時すぎ、宜野湾市役所

1999年（平成11年）7月23日（金）

# 普天間飛行場の移設問題

これまで「普天間飛行場の県内移設には基本的に反対、県内移設では沖縄の基地問題は解決しない」としてきた宜野湾市の比嘉盛光市長が移設容認に大きく踏み出した。二十二日あった市議会野党会派との面談後、「移設先で住民合意が得られた場合は反対しない」（県内移設）と応じる。明確した。来夏の沖縄サミットに絡み、普天間飛行場返還問題がにわかに関心始めた中での今回の市長発言は、政府が指す「県内移設」を後押しする格好になる。市長の「政策変更」は向かえばいいのか。

（宜野湾支局・崎法秀也、政経部・石川達也）



野党会派との面談後、普天間返還問題で意見する比嘉宜野湾市長（右）＝22日午前、同市会所

## 苦渋の「県内容認」へ

腹をくくれ

県内移設を容認する決議案の可決を目指す市議会野党会派は、先ごろ会談した野中広務局長官との話し合いの内容を伝えることにも、市長に対し県内移設容認の姿勢を取るよう強く促した。市長は「もし事

### 野党議員ら 市長に迫る

「状況が変わったと判断し、議論の後押しも得られる」として「県内移設容認」を明言したと見る向きもある。野党の話を聞き、大いに論



「市民の生命、財産とどう向き合っていくのか」と迫った。これに対し市長は責任を負うのかと漏らした。これに対し市長は責任を負うのかと漏らした。これに対し市長は責任を負うのかと漏らした。

「状況が変わったと判断し、議論の後押しも得られる」として「県内移設容認」を明言したと見る向きもある。野党の話を聞き、大いに論

### 県幹部は歓迎

一方で別の見方もある。市長の発言は「市長発言はあくまで移設先の地元の合意という前提条件が付く。しかし、必ず移設先が四とまっ抗するが、与党のと結んだ政策協定の取り一部からは市長発言を建設的に受け止める後の構図は明らかだ。

### 与党会派へ説明

【宜野湾】普天間飛行場には臨時議会を開催したいとの返還問題で、県内移設容認を含んだ決議案の可決を目指している野党議員は、今週末から与党会派への個別の内容説明を開始する。野党会派の代表は二十二日に比嘉盛光市長と面談、可決へ向け、与党への働き掛けを求めているが、これを待たず独自に動き出すことになった。野党側では八月月上旬まで

【宜野湾】普天間飛行場には臨時議会を開催したいとの返還問題で、県内移設容認を含んだ決議案の可決を目指している野党議員は、今週末から与党会派への個別の内容説明を開始する。野党会派の代表は二十二日に比嘉盛光市長と面談、可決へ向け、与党への働き掛けを求めているが、これを待たず独自に動き出すことになった。野党側では八月月上旬まで

1999年(平成11年) 8月20日(金)

# 「普天間移設」文言で調整

宜野湾市議会

## 開会后、すぐ休憩 「傍聴席」求め百人余



開会后、休憩に入り議場を後にする市長や議員ら  
=20日午前

【宜野湾】米軍普天間飛行場の県内移設問題の決議・意見書を審議する宜野湾市議会(全久嘉兼議長)の臨時議会が二十日午前、開会。提案者ある保守系野党が作成した決議・意見書案について、「県内移設容認」と「日米特別行動委員会(SACO)の方針通り」の文言をめぐる与野党調整のため、開会手続を取ったあと休憩に入った。移設反対、賛成の両派は四十六人の傍聴席を求め、百十人余りが駆け付けるなど、関心の高さを窺せ、普天間飛行場の県内移設問題を初めて正面から取り上げた同市議会の行方を見守っている。

(一面に関連)

与野党勢力は議長(与党)を除き十四対十四。前日夜遅くまで行われた与野党の文言すり合わせ作業は、議会開会前にも続行されたが、調整がつかなかった。

野党四会派は「県内移設かSACO合意のどちらかを入れたい。最低限SACO通りの文言を入れることができれば目的を達する」との考えで、与党の歩み寄りを促したい考えだ。

一方、与党四会派は対応に大きな違いが見られ、まとまっていない。最大会派の市民クラブ(六人)は「県内移設もSACOも同じ意味であるの、いずれが入っても応じられない」としながら、「移設先は問わない」との表現であれば検討する

との意見もある。議長を擁する市政クラブ(四人)は「SACO合意の文言だけを残すのであれば同意できる余地がある」との考え。公明(三人)は中央の自公連立の流れを受け、

県本部でも政策決定を協議している段階で微妙。議員は立場を明確にしないが、同党県本部は「県内移設なら明確に駄目。SACOでも内容は同じであり、反対」と話している。共産党(二人)は無条件全面返還を譲らず、与野党協議にも応じていない。野党は調整がつかなければ、市政クラブを巻き込んで採決に持ちこたむ考え。

提案者となる野党四会派座長の平安座唯雄氏は「野党としてはSACO合意を盛り込むことは譲れない。その表現など自動的に県内移設を意味する。危険な普天間飛行場は五十年以上も市街地に厩座っており、子や孫の時代まで残すわけにはいかない。跡地利用を考えたもこの時期を逃すと動かさないことは跡地利用もたい」と話している。

1999年（平成11年）8月21日（土）

# 「許せぬ」「だめだ」

宜野湾市議会

## 傍聴人から怒号、やじ

### 議長 無言で執務室に



決議案と意見書の採決で賛成のため起立する野党議員＝21日午前1時15分、宜野湾市議会議場

【野湾】二十一日未明までもつれ込んだ宜野湾市議会の臨時議会は野党提案の決議文を議長裁決の末、かろうじて可決した。提案した野党サイドは危険な普天間飛行場の早期移設に向け、大きな歩一と最後まで強気な姿勢を崩さなかったが、当初の文案から「県内移設」の文言が消え、大筋に「トンダウ」・日米両政府が毎年決着に動きをつける第一幕は逆に県内移設の難しさが浮き彫りになる場面となった。開会から十五時間以上待たされた傍聴席の県内移設反対派の住民らは「決議案可決は許せない」と抗議の声が上がった。（一面参照）

臨時議会は、十日午前十一時の開会直後に休憩に入った。与野党会派による決議文の文言調整を終え、採決審議が始まったのは午後十時すぎ。この間、傍聴に来た市民らは延々と十時間以上も傍聴席やロビーで待機。いずれも疲労の色が濃かったが、決議文を手直しした議会の行方を注視した。野党による議案の趣旨説明に続き、与野議員からの質疑。普天間飛行場の県内移設の必要性を強調する野党議員らに対し、

「その瞬間、野党議員のよしと声、傍聴席からは議長は強めろ」という激しい声と怒号が飛び交い、議場は騒然とした雰囲気になった。傍聴会後、議長は出てきたところを取り囲んだ記者団を振り切り、無言のまま足早に議長室に消えた。傍聴していた普天間基地の撤去、および爆音を退放する宜野湾市民の会の島田善次代表は「賛成に回った議長を許せない。議会がこんな形で議決して、もわれわれは県内移設を断じて認めない。今後反対運動を強めたい」と決意を語った。

だが趣旨説明が終わると、再び休会。午後十一時五十分すぎに延会となった。再開し与野党、人すつた賛成、反対討論の後、採決は日付が変わって二十一日午前一時十五分からの同数。与野連中の天久嘉栄議長による議決となり、同議長が賛成に回ったことで、決議と意見書は可決された。

1999年（平成11年）8月21日（土）

# 県内移設を實質容認



「普天間」で宜野湾市議会

## 紛糾 未明の審議

### 可否同数で議長裁決

【鮮湾】米軍普天間飛行場の移設指定地に関する審議決議・意見書をめぐる紛糾が続いた。宜野湾市議会（次々藤栄議長、二十九人）は、二十一日午前七時、議長裁決を可決し、決議文では「県内移設を前提とした（日本特別行動委員会（SAO）の方針通）の文言を盛り込める。審議は、未明に至る及余例の懸念と、当初、野党は圧倒的多数で可決するとの見通を持っていたが、与党の抵抗が激しく、思惑とは異なり、県内移設問題の審議を、あつめて決着した。

（2）26日開催

開会後、提案者を代表し、明し質疑に入った。共産党 尋ねかたに対し、平安座氏「基地は、野党の安座唯雄氏が「提案としては移設先は普天間と議論し、必ずしも危険とは思っていない、現在の危険性を除去するため、移設先において、危険は軽減されると述べた。知意氏が「市民が大きな苦しみを負って来た。普天間基地周辺のどつちか移すことは危険性を、氏は「すべてのものに比べ、県民に押し付けられない、自動軍事にならないか」となしたが、故で死ぬが年間二万人、費三

**効果的跡利用を 小淵首相**

小淵首相は二十日、米軍普天間飛行場の移設問題で、沖縄側が移設先の提示は跡地対策が前提として行われていることについて「跡地は沖縄県のために大いに活用されるべきではないか、効果的な土地利用が行われなければならない」と述べ、政府として有効な跡地利用案を決定する意向を強調した。

また首相は「地元、地権者の希望もあろう、貴族院の審査も必要である」と述べ、首相官邸で記者団を前にして、跡地対策を重要な課題と述べた。

だが、知意氏が「市民が大きな苦しみを負って来た。普天間基地周辺のどつちか移すことは危険性を、氏は「すべてのものに比べ、県民に押し付けられない、自動軍事にならないか」となしたが、故で死ぬが年間二万人、費三

るが、皆さんも考えた自分人討論に立って、採決で動議を可決できないかな」と主張した。

議長が採決の間、傍聴席からは移設反対派の平安座氏に「どうも、勇ましい」と激しい声を飛ばした。議長が制止する場面が何度かあった。

午後十一時、普天間飛行場の移設（SAO）審議が休会となり、休会に入り、与野党各派の協議が新鋭的続けた。

#### 結果を重く受け止める

比嘉光市議、今日の議案については、議会の開かれ、論議を尽くした結果、決案されたものであり、結果については重く受け止める、今後、慎重に処して、見直しはあり、後十分に内容を検討した。

米軍普天間飛行場問題で一環内移設の文言をめぐり市議会の審議が、深夜に再開された。宜野湾市議会は20日午後10時30分

1999年（平成11年）8月21日（土）

知事コメント

稲嶺憲一知事 普天間飛行場の問題について僕は、現在、移設に向けて複数の案を鋭意検討している。地元宜野湾市の市議会が、SAC Oの合意に基づき移設先の早期決定を求める決議を行ったことは、市街地の中心

「議決を尊重する」 比嘉市長

比嘉盛光宜野湾市長は可半から記者会見。事実上の決直後の二十一日午前一時 普天間飛行場県内移設容認

向けて、全力を尽くしたい。理解している。県としては、宜野湾市議会の決議の趣旨を重く受け止め、今後とも普天間飛行場の早期返還に

議案を提案した野野四会野党・平安座座長

議案を提案した野野四会野党・平安座座長

寸評寸描

基地の危険をそっくりまともに。宜野湾市議会、普天間の県内移設を容認

平和・反基地」で心を一つにした県民、今は昔の語、陰々滅々たる朝赤子でひん死の県立病院に思う。健全なる経営は健全なる行政に宿ると

倒壊家屋の多くが違法建築と、がれきの下の被災者哀れ、トルコ大地震

1999年（平成11年）8月21日（土）

# 揺れた議長決断

## 「与党選出なのに…」

未明までもつれ込んだ宜野湾市議会での米軍普天間飛行場の早期移設を求める決議、意見書の審議。十四対十四の可否同数で、最終的に決着をつけたのは議長裁決だった。与野党がきつ抗した同市議会、野党側が提出した議案を可決に導いたのは与党選出の議長の揺れた「決断」があった。

議長は最終的な裁決を前に比嘉盛光市長を訪ね、「私は決断します」と候ながら自らの「意志」を伝えた、という。

議長裁決を前に、天久議員の胸の内が恒間見える一幕があった。審議が二十日深夜まで長引き二十一日まで審議を続ける延会手続きの裁決の際、天久議員が「原案通り可決します」と言い回しを勘違いし、傍らの議会事務局長の指摘で慌てて訂正する場面があった。まるで、早期移設を求める決議、意見書の裁決に向けた自らの「意志」を漏らしたかのようだった。

一方、議長を支えるはずの与党会派の議員からは、議長の決断に対する非難と疑問の声も上がった。

「私は宜野湾市のため、行政のため、苦渋の決断をした。これは宜野湾市にとって良い結果になると思う。」二十一日未明、審議を終えて議長室を出た天久議員は、報道陣を前に「これで勘弁してください」と、議長周辺にまると、天久議員は、議長の決断を「英断」とたたえた。「議長は血圧が高く、体調が優れない。再三、議長の意見を求める報道陣に対し、体調不良を説明したのは野党議員だった。」

裁決後、「なぜこんな結果になったのか」との報道陣からの問い掛けに対し、ある与党議員の一人は「こっちは聞きたいくらいだ」と首をひねった。また、議長と同じ会派の議員も「会派として方針を確認した時は、同じ行動を取ると言っていたのに」と語り、処分なく会派としての対応について、「今後、話し合いたい」とした。



疲労の色をにじませ、硬い表情で議長室を出る天久議長（中央）＝21日午前2時分すぎ

「もう遅いですから…」二十一日午前二時二十分すぎ、報道陣に囲まれながら議長室を後にする議長への質問を遮り、市庁舎を出る議長を先導したのも、野党議員だった。

1999年（平成11年）8月21日（土）

# 「普天間」移設で新局面

## 宜野湾市議会決議

# 週明け 要請行動

## 知事「市民の思い」と評価

宜野湾市議会（天久喜議長）が二十一日未明、普天間飛行場の県内移設を容認する意見書と要請決議案を可決したことに対し、稲嶺知事は同日「市民の切実な思いが示された」とのコメントを発表した。県上層部は、地元の議会が実質的に県内移設の意思表示をしたこと以上の、複数案に絞り込む作業に追い風に変わると評価している。一方、可否両派のきつ抗した状況から議長裁決に持ち込まれたことについては、「市民の複雑な思いを反映したもの」と慎重に構える向きもある。市議会は、週明けの二十日から県や関係省庁に対し要請行動を展開する予定で、普天間返還をめぐる動きは新たな局面を迎える。（4・5面に関連）

臨時議会は賛成提案の意、フ、21世紀クラブ、ニュー・イノベーション、市政研究会、行動委員会（SACO）の房や防衛庁から動向を探るべく、二十日深夜に延べ、保守系野党四会派十四人の基本方針どおり、米軍普天間飛行場の移設先の早期決断を強く要請する」として、賛成十八人が討議、其程の革新定を強く要請する」として、可決多数となり、天久喜議長は、県内移設を認める内容となっている。

出立続き午前二時すぎに、長（市政）は「賛成の採決が行われ、民政クラブ、及び決を下した。二十一日の深夜まで、宜野湾



「結果を覆く受け止める」と語る比嘉宜野湾市長三宜野湾市役所

「県の絞り込みを早くやらないと、いけない」といつつも、議長裁決に持ち込まれた上で可決されたことには「議長の

決断は、市民が動きやすいように考えた上でのもではないか」とみている。一方、別の県幹部は与野党がきつ抗したことで「市民として複雑な思いを反映したものであり、重く受け止めている。事実をく理解しながら移設作業を進めたい」と語り、稲嶺知事への電話が何度かあり、政府も高い関心を示していた。前掲とした日米特別行動委員会（SACO）合意の実施による基地の整理・縮小を図る方針を強調した。



1999年(平成11年)8月22日(日)

# 風追い追いに政府や県



議長裁決して決議案が可決。傍聴席の移設反対派に怒りと落胆が広がった  
=21日午前1時10分すぎ

## なし崩しに危機感

### 中央とかなりの温度差

#### 公明の動向

上高 当初、与党の公の浦添移設決議をめぐる明が可決への力ぎを握る。県議会、那覇市、浦添市の幹部が連絡を取り合い、

とや、自民公連立の流れからすると、賛成しても不自然ではない。どうも中央では、自民党と公明党の幹部が連絡を取り合い、地方の公明市議が賛成でき

るような決議文にするように野党に働きかけたアジがある。前からの「決議文に『県内移設』を入れるなら明確に『SACO同意』の通り、『SACO同意』でも同じ県内移設だから反対」と言っていた。県本は現在、自民公連立の方針を受けて県本、基地問題は大きなアジとなる。那覇軍港につ

## 政府、前進と評価

### 与党 議長不信任の声も

#### 決議の効果

山城 問題は、決議が宜シナリオになった。与党が野湾市民の意向を反映しては議長不信任の声も上がっている。議長のような意義や効果があるか。上高 政府筋は「議長裁決して議会の意思であり、重に、市議会としての統一行動は難しくない」と、市民ク

に「歩前進させる動き」と評価している。崎浜(也) しかし市民の判断、市民の意思までにはなっていない。多数決の原則からすれば確かな可決であるが、議会の意思が反映されている中で最悪の

「一年以内決着」のシナリオは宜野湾市議会の可決が入っていない。議長裁決である可決したのとは間違いないので、市民の意思が反映されたを受け止めるだろう。県も速定作業を急がな

ければならないから、「追い風になる」と喜んでいる。山城 普天間飛行場を抱える市議会の可決だから、

対外的にはそれなの車みとインパクトを与えたい。一方で、可否同数という内実はどこかで引っ掛かる。市議会可決を受けて活発化する賛否の動きとも、市議会可決の意義をめぐり「議会意思」として評価する」と「実際は削れている」とに分かれると思ふ。

1999年（平成11年）8月23日（月）

# 県の複数案選定急ぐ

## 「市議会決議 重く受け止める」

### 普天間移設で稲嶺知事

宜野湾市議会（天久嘉光議長）が、普天間飛行場の県内移設を容認する意思書と要請決議を可決した（以下）、「稲嶺知事は、今回の市議会の決議を重く受け止める。宜野湾の方々が危険な状況にあるということがにもみ出ているということではないか。返還に向けては跡地利用、地主、基地従業員への補償、移設先の地域振興策も問題が複々に絡み合っている」と述べ、市議会の県内移設容認決議を受け、県の複数案選定作業を急ぐ考えを示した。二十三日の定例記者懇談会で明らかにした。

稲嶺知事は市議会の決議 態度をどうと見て移設と新制度を要請したことにされる必要がある」と政府が可否同数の上議長殿に）を依頼したものであり、については「県議会で発言し」の姿勢が県の複数案提示のなつたことについては「重く受け止めていなくてはならない」と述べ、政府に対し、跡地が、市街地であり危険な状



宜野湾市議会の意見書可決などについて語る稲嶺知事

いは「政府側が、重く受け止めた」と感じている」と述べ、期待感を示した。米国防府関係者が移設に「機密保持が条件」と発言した（以下）については「いろいろな立場の人がそれぞれの発言をする。県は県の立場に立つて、何かベターなのかを探ってみたい」と述べ、

県と北部十二市町村長の連署のかが質問に「過懸念で、北部振興策を推進、疎化、高齢化進み、県全体的に均衡ある発展のために重要であるからだ」と述べ、関連を肯定した。

1999年（平成11年）8月24日（火）

宜野湾市議会

「議会制民主主義に反する」

与党4会派、議長に抗議

【野湾】天久嘉栄議長の裁決で普天間飛行場の県内移設を事実上承認する移設先早期決定に関する意見書と要請決議が可決されたこと、宜野湾市議会の与党4会派代表は、23日、議長室で与党出身の同議長に強く抗議し、真意をたじた。抗議したのは垣田清原氏（市民クラブ）、伊波廣助氏（市政クラブ）、大城政利氏（公明）、知念忠一氏（共産）の与党4会派の代表4人。

「普天間移設」の議長裁決

保守系野党が提案した議案に賛成に回ったことについて天久議長は「可否同数となり、自らの意思で裁決した。責任は感じていない」と答えたという。また二十一日未明の裁決前、与党会派の面談要求を受けなかったことについて



議長が野党に面談したことを批判する与党4会派の代表  
＝宜野湾市役所

は「議長手続きのことなど議会運営で頭がいっぱいだ

つた」と釈明した。抗議後の意見で知念氏は「議長は中立を保つべきだ。議長室で野党議員が同席している中、議長手続きなどを進めていた。議案制民主主義に反する」。大城

氏も「はなはだ残念。仲間だと信じていたのに」と悔しさをにじませた。議長は同じ会派の伊波氏は「議長に確認を取りながら会派の意見をまとめてきた。会派の立場と議長の立場は違うかもしれないが、せめて自らの決断をわねわれに伝えてほしかった。情けない」と表情を曇らせた。

議長に対する後の対応について新垣氏は「議長との話し合いの内容を会派メンバーに伝え、論議して判断を下したい」と語り、今後も議長を与党の一員とする野党議員だけで行われると

天久議長は「二十五日ころに議会運営委員会を開き、行動日程について協議する。要請先や要請の人数も協議で確認すると話し、要請行動は天久議長と野党議員だけで行われると

るかどうかについては明言みられる。25日以降、県や政府に要請行動

【野湾】議長裁決で意見書・決議案を可決した宜野湾市議会（天久嘉栄議長）は二十五日、政府、県や那覇防衛施設局、政府に対する要請行動に入る予定。

天久議長は「二十五日ころに議会運営委員会を開き、行動日程について協議する。要請先や要請の人数も協議で確認すると話し、要請行動は天久議長と野党議員だけで行われると

田田氏擁立決まる  
県議選で社大党沖縄支部  
【沖縄】社会人党沖縄支部は二十三日までに、来年六月の県議選・沖縄市区候補として元県議の本田守昭氏を擁立する方針を決めた。

1999年（平成11年）8月24日（火）

# 郵送か直接か

## 宜野湾市議会の決議文取り扱い

「宜野湾」要請行動はなし、誓天間飛行場の限内採決を容認する意見書と再議決議を可決した宜野湾市議会（天久嘉栄議長）は、二十七日、県や関係省庁への要請行動について議会運営委員会を閉会協議。異例の採決の結果、野党が求めた要請行動は行わず、郵送で議会の意思を伝えることが決まった。与野党の主張が真っ向から対立した二十一日未明の臨時議会を引きずった格好になり、臨時議会では敗れた与野党が、議運では野党側が一矢を報いた形になった。与野党の争はずまず深まる結果になり、「早期協議」では一致する両者の距離は狭のなく広がった。

大手を振って要請行動に、衣箱、三十一日にも県を訪問から予定だった野党側は、ねることにしている。出はなをくじかれた。「野」当初、議運は要請日程や党議員十四人だけで、県と人脈を決めるだけとみられ、関係省庁に要請、説明にしていたが、与野党が要請行く。当然自派だ」と怒りの、聖旨性に異議を唱えたこと

### 要請必要ない 自費でも上京

与党  
野党

から粉砕。議運が始まったのは午前十時、昼食時間も設けず、休憩をばきんで協議を続けただが意見が合わず午後一時半、挙手による採決になった。

野党側は「議長裁決とはいえ、市議会の決議には変更認められなかった。臨時議会では野党側と同じく、郵送はおかしい。議会調、自らの裁決で可決に導いた野党議員も、郵送で済む必要はない」と譲らなかつた。採決の結果は五対四、野党の主張は賛成少数だった。今後、与野党に対し（共同歩調をとる）呼び掛けはしない」と明言。同席した野党議員も「郵送で済む必要はない」と語気を荒らした話に分かる」と主張。こ

### 議長 郵送あつせん 亀裂さらさら

に沿ったあつせん案を提示した。天久議長は「これ以上議会が対立することは市民の利益につながる。正常化を図っていくためにあつせん案を出した」と記者の質問に答えたものの、郵送することがどう正常化につながるかについては明確にできなかった。



1999年（平成11年）9月17日（土）

宜野湾市議会野党

# 西海岸総意でない

## 「県の検討」撤回を要求

「野党連合の野党十人は大目、県庁に抗議」  
 「知事公室長を訪問、告白」  
 「議員の三人が野党間飛行場の移設候補地として市内外西海岸を提案したことに対し、「野党全体の総意ではない。移設候補の決定は、知事公室長の発言を撤回してほしい」と申し入れた。

那覇 伊波普雄氏らは、27日の市議会決議は、SACO会派の方針通りの野党間移設を求め、知事知事支援するの狙いである。SACO会派に野党西海岸は入っていない。三人以外の野党十一人は、公室長が候補地の決定に入ることについて「SACO会派の意向」を尊重し、国や企業から懸念があったの「心」を踏まえた。

これに対し、知事公室長は「候補地選定は自派の状態である。知事知事は県議会答弁で、北部を含め県内全域を候補とする考えを述べている。現在、地主補償や跡利用、地域の振興開発などをめぐり、いろいろな点から検討している段階と府が示した。A、B案は県民から検討する中で判断した」と、政府案以外の工法（野党は「全くなじ」と否定）については、即め立てとの現行性を示唆した。

べている。現在、地主補償や跡利用、地域の振興開発などをめぐり、いろいろな点から検討している段階と府が示した。A、B案は県民から検討する中で判断した」と、政府案以外の工法（野党は「全くなじ」と否定）については、即め立てとの現行性を示唆した。

1999年（平成11年）10月1日（金）

# 市長の政治姿勢問う

【野湾】市議会（天久嘉徳議員）の九月定例会は九月二十九日、四百回となる一般質問の議戦を終えた。米田普天間飛行場の移設問題で、区内移設をめぐると比嘉光市長の政治姿勢を問う質疑が論議の中心になった。

（宜野湾支局・崎浜 秀也）

## 「普天間」で論戦

「普天間移設問題」は野党から質疑が集中した。野党側は区内移設を前提とするSACO（日本飛行場整備会）の承認の要請で、「母国」が返還を早めは、「基地問題の解決は」と追及したのに対し市側は「SACOを認める以外にない」と明言した。しかし、最後に区内移設容認の要請を同じ内容の質問を繰り返した。

## 島田懇事業とん挫も追及

### 宜野湾市議会一般質問

と受け止めているのか」の移設反対のスタンスを踏問には「移設先についてするよう求めた。SACOは国、県で決まらねとで合意されたばかりの事案の返ってきた。移設先にはか中にはすでに走りだしてかわらないと返ってきた。るものもあることを理とかわした。一方で市長は「SACO容認の」仮に移設先が区内に決ま姿勢を示したことになる。この問題については市側は「事前調整段階ではない感持った場合は尊重する」とも 党議員は「市長の言い立聞り、区内移設になった場場も分かる。しかし分かった補助金をもくろんでいた合も反対しない態度だ。にくい答弁だと不満だ。が最終的に国側に「宜野八月の臨時議会で議長 野党の上地安之氏（民政 市の補助金は十億円」と決とはいえず、区内移 クラフ）は市が島田懇 言われた。また用地問題も 股を容認する要請決議案を 会弁案として準備を進めて 持ち上がり、結局は計画を 可決し野党側は市長の政 いた進言船復元を中心とす いったん白紙に戻した。七 治姿勢に論議が続いた。与 する計画が予算オーバーなど 月には正式に断念を決め 党側は革新市長として区内 を理由に国側からげられ た。現在、新たな企画で事 業申請ができるようさらに 準備を進めている」と話している。

2000年（平成12年）7月6日（木）

### 宜野湾市がアメリカン・スクール支援へ

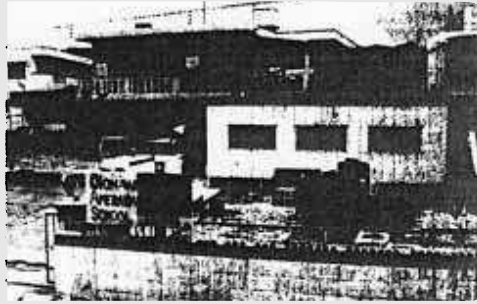


宜野湾市が行政として初めて「アメリカン・スクール・イン・オキナワ（ヘイヤー）の代表」に新たな施設を無償提供する。県が検討している講師派遣による入件費の軽減と併せ、運営費面からスクールを支援したい考えだ。教育を受ける権利と平等を理念に行政上の「足かせ」を振り払い、いわば特定のリースクールに市が手を差し伸べた意義は大きい。しかし、依然としてアメリカンを取り巻く課題は山積しており、解決に向けて一歩を踏み出したにすぎない。（宜野湾支局・粟國雄一郎 社会部・岡部ルナ）

# 行政の枠超え勇断

在日米軍人・軍属など、米国人男性と日本人女性との間に生まれた「アメリカン」の子供たち。宜野湾が通うプレップで「継ぎはぎ」された施設は手狭で、しかも住宅街という環境で子供たちは思い切り走り回ることができない。また講師への給与や施設の賃借料といった年間の運営費は約千万円に上っている。

三日、宜野湾市の比嘉盛市市長が会見し、同スクールの民間施設買い取り案で作



ダフルの教育を求めて「アメリカン」が通う宜野湾市内のアメリカン・スクール・イン・オキナワ＝宜野湾市大山

## 環境改善へ一歩 なお課題山積

### アメリカン問題の経緯

1997年11月 みんなでつくろうインターナショナルスクールの会が宜野湾市役所に公共施設の提供を要請  
 1998年1月 アメリカンの教育権を考えると沖繩県にヘリースクールの施設提供要請  
 3月 県が重国籍児等の教育問題に関する検討会設置  
 4月 考える会が大田昌秀知事に外国人学校設立を要請  
 6月 考える会が宜野湾市の県立駐留健康福祉センターでアメリカンスクール開校  
 1999年1月 宜野湾市教委がスクール児童生徒の学籍を回復  
 2月 考える会が県議会に公的援助などの要望書提出

3月 考える会が有馬朗平市長に環境整備の要請書提出  
 9月 視察。同市教委は生徒などの実情を把握  
 2000年2月 考える会が卒業生などの実情を把握  
 3月 青木幹雄市長がアメリカン卒業生に初回の公立校卒業生に環境改善などの方針を示す  
 5月 森嘉朗首相がスクールの環境改善の方針を明らかにする  
 6月 島田懸談会がスクールの問題への取り組みを報告  
 7月 軍費支払い込んだり、教育を盛めた

の私は大きな願い」と語り、一学校法人でもない、いはば一民間施設を行政が支援するのは極めて異例（同助教授は「教育を受ける権利は平等という普遍的な価値観を打ち出し、行政の形式にとらわれず支援を勇断したことは意義深い」と評す）

政区分を超え支援に乗り出したことには、宜野湾市行政先人の勇断が大きい。市役所では「少くとも子供たちがバスで通学でき、敷地内で遊べる空間を」と願う。市に対し近々要請書を出したいとしている。

北谷町役場、宜野湾市役所に設置が検討されている県の相談窓口は、それぞれ隔遠で一回、現在、政府が米軍に対して打ち上げる窓口の設置にも、セイヤー代表は「人権に関する問題だから対等なはずだが、窓口の設置が実現しても敷居は厚くなりそう」と話している。

またスクールは、将来の沖繩の国際化を考慮の「絶好の空間になりうる」とセイヤー代表、県が派遣を検討している人材には、沖繩で能力を生かす場のない留學経験者などを希望している。

「少くとも子供たちがバスで通学でき、敷地内で遊べる空間を」と願う。市に対し近々要請書を出したいとしている。

またスクールは、将来の沖繩の国際化を考慮の「絶好の空間になりうる」とセイヤー代表、県が派遣を検討している人材には、沖繩で能力を生かす場のない留學経験者などを希望している。



2000年（平成12年）7月27日（木）



2000年（平成12年）9月19日（火）

# 地位協定見直しを

## 宜野湾市議会が意見書可決

【宜野湾】宜野湾市議会関係協議会議と協議し、二のぼつて扶養手当を平均〇（天久嘉米議長）は十八〇〇〇年度国家公務員一般職給付について、本給の引上げ（定期昇給分を除く）を見送り、四月にさか

期末・勤労手当（ボーナス）を減収となる、二十一日召集の臨時国会に関連法案を提出する。

同協定見直しについては、普天間飛行場をはじめ米軍基地の多くが住宅地域に接し、航空機騒音、油や汚水の流出、POB（ポリ塩化フェニール）など有害物質の問題が県民生活に多大な影響を与えていることを挙げています。また同助成区域拡大には区域外における騒音が環境基準値以上で測定され、生活環境に大きな影響を与えているとしている。

内閣総理大臣、官房長官、外務大臣など県内の関係八力所に提出する。

〇が〇・一月（給与の一・二％分）削減されることから、行政職の平均年収は、六百三十一万九千円（四〇・五歳）と現在より約六万九千円（一・一％）ダウンし、二年連続の臨時国会に関連法案を提出する。

2000年（平成12年）12月16日（土）

# 跡地基金条例を可決

## 宜野湾市議会 軍用地取得向け

【宜野湾】宜野湾市議会（天久嘉米議長）は十五日の本会議で、普天間飛行場など市内の米軍基地の跡地開発に向けて、基金を積み立て、将来の公共施設用地として軍用地を先行取得する「基地返還に伴う跡地の転用推進基金条例」を全会一致で可決した。

一〇〇一年度（四億円）その後は基地傾斜配分交付金を原資に二〇年度まで毎年二億円程度を積み立てる。取得した軍用地料は基金に組み込む。基地内の土地を先行取得しておくこと、返還後の街づくり方針。

2000年（平成12年）10月5日（木）

# 市内全域の指定を

宜野湾市議会

## 航空機騒音で施設局に要請

宜野湾市議会（天久嘉栄議長）の代表十一人は四日午後、那覇防衛施設局に山崎信之郎局長を訪ね、米軍普天間飛行場から派生する騒音指定区域を市内全域に拡大することや、日米地位

協定の見直しなどを要請した。九月の定例議会で意見書を可決していた。

天久議長らは、普天間基地の飛行ルート変更や夜間飛行が市民を不安に陥れていると指摘。「われわれは五十年余り基地があるための騒音に悩まされている。国は市民の生活、子どもたちの教育環境を守ってほしい」と要望。同飛行場でセスナ機の離着陸、旋回が目立っていることも伝えた。

山崎局長は「騒音は住民にとっては深刻な問題だ。指定区域の拡大は測定調査の結果を踏まえ、適切に対処したい。地位協定の見直しについても現地の視点を踏まえ、政府側の改善の検討経過に意見を反映させたい」と述べた。

普天間基地周辺には現

在、三基の騒音測定器が設置されているが、基地西側には設置されていない。

2000年（平成12年）12月29日（金）

# 普天間

名護市受け入れから1年

下

「普天間飛行場の移設については、既に解決しているものと認識している」。  
個人的には「県内移設では根本的な沖縄の基地問題解決にはならないと思う」。  
「国」の責任

九月の宜野湾市議会一般質問。与党の共産議員から市長として普天間飛行場の県内移設に反対するようたたき、革新系比嘉盛光市長はこう語った。

て、国の行財政支援の獲得と円滑な跡地開発に重なる点で、普天間飛行場の返還への動きが激々、普天間を返還されていく。

点となる公共施設用地として段階的に先行取得。今後はこの基金を受け皿に、国の財政支援と軍用地取得の際の法制度の有利な運用を求め、

埋蔵文化財の調査について（市担当者）。  
〇一年度予算では当初、〇一年度予算で、詳細な分布調査の実施計画をゼロ査定した普天間飛行場等大規模駐留軍用地跡地の「跡地開発に向けて、歩路利用推進費の二億円が復活み込んだ文化財調査の環境した。

## 跡地開発向け着々

行場返還跡地利用促進協議会が開催した比嘉市長の講演会では、跡地開発に十一年余りを費やした那覇・天久新都心の事例を挙げながら「地権者が、安心して返還を迎えられるよう、返還までにできる限りのことをしておきたい」と語り、拍手を浴びた。

■ 宜野湾市は、〇〇一年度から「基地返還に伴う跡地の転用推進基金」を創設した。普天間飛行場を中心とした市内の米軍用地を、返還後の将来の街づくりの拠

### 宜野湾市長は

### 揺れる支持母体



米海兵隊普天間航空基地。市の中心部で4分の1近くを占め、いびつな街づくりを余儀なくしてきた

「これは抗議ではなく、励です」。『要請』では、強い不満を示しながらも支持の姿勢は変わらないという、ある意味で矛盾を示す発言もあった。  
また来年七月の宜野湾市長選を前に、普天間の県内移設などをめぐって市職労内部でも「公約違反」との声が上がりが、市長支持を再考するよう求める声も挙がっている。  
（北部支社・阿部岳 嘉数浩二、仲村武裕 中部支社・栗田雄一郎）

2001年（平成13年）3月14日（水）



2001年（平成13年）6月19日（火）



2001年（平成13年）7月1日（日）

ニュース

レポート2001



重葺りサイクリング施設工後、擴大工として一時期保留された冷風庫などの廃棄物、再陸化に向け手置型などを集積している。即期中、自治協を委託し撤去処分が実施される。

家電をみ法適用延期の行方（宜野湾市）

家電の自由貿易をめぐる議論が、先月、自由貿易協定の締結が決定したことで、自由貿易協定の締結が決定したことで、自由貿易協定の締結が決定したことで...

議会「法の趣旨に反する」

市、対応の誤り陳謝

結論は9月へ先送り

イニシャルを進めていく。懸念を抱いた北野町など、二市一町は強硬な姿勢を示し、市に反対。市は、市議会に反対を表明し、市議会に反対を表明し、市議会に反対を表明し...

市議会に反対を表明し、市議会に反対を表明し、市議会に反対を表明し...

2001年（平成13年）7月16日（月）

### 比嘉氏再選

## 「現実対応」に評価

### 白票5倍 市民の批判も

現職の比嘉 であることを認めて、と訴えた。得票数の増加は比嘉氏が新入現業対した現実対応、市民の支持を認められたこと、市選民が比嘉氏を支持したことが理由と見られる。比嘉氏が再選されたのは、市民の支持を認められたこと、市選民が比嘉氏を支持したことが理由と見られる。

### 宜野湾市議補選3人決まる

【宜野湾】宜野湾市議 当選を決めた。選挙の結果、白票は約5倍に達した。市民の支持を認められたこと、市選民が比嘉氏を支持したことが理由と見られる。

野湾市長に「県内総反」を誓う。野湾市長は「県内総反」を誓う。野湾市長は「県内総反」を誓う。

宜野湾市議会議員補欠選挙開票結果	
選挙区	結果
選挙区1	72289535
選挙区2	0919141
選挙区3	6332222
選挙区4	3322222
選挙区5	2222222
選挙区6	2222222
選挙区7	2222222
選挙区8	2222222
選挙区9	2222222
選挙区10	2222222
選挙区11	2222222
選挙区12	2222222
選挙区13	2222222
選挙区14	2222222
選挙区15	2222222
選挙区16	2222222
選挙区17	2222222
選挙区18	2222222
選挙区19	2222222
選挙区20	2222222
選挙区21	2222222
選挙区22	2222222
選挙区23	2222222
選挙区24	2222222
選挙区25	2222222
選挙区26	2222222
選挙区27	2222222
選挙区28	2222222
選挙区29	2222222
選挙区30	2222222
選挙区31	2222222
選挙区32	2222222
選挙区33	2222222
選挙区34	2222222
選挙区35	2222222
選挙区36	2222222
選挙区37	2222222
選挙区38	2222222
選挙区39	2222222
選挙区40	2222222
選挙区41	2222222
選挙区42	2222222
選挙区43	2222222
選挙区44	2222222
選挙区45	2222222
選挙区46	2222222
選挙区47	2222222
選挙区48	2222222
選挙区49	2222222
選挙区50	2222222

2001年（平成13年）8月7日（火）

### モール用地造成に

## 66億円債務負担

### 宜野湾市議会、補正予算可決

【宜野湾】宜野湾市議 会（天久嘉栄議長）は六日の臨時議会で、沖縄国際ショッピングモール用地造成事業費として約六十六億円の債務負担行為を盛り込んだ一般会計補正予算案を賛成多数で可決した。

### 同事業費の内訳は、予定地の仮設避難港跡水域部分（六・四三杉）の埋め立て費約十九億円と、企業・個人所有の民有地（二・四七杉）の買収費約四十七億円。

2001年（平成13年）8月10日（金）

米兵事件

## 軍の組織内に問題 宜野湾市議会が抗議



山崎市長（右）に事件の防止徹底立を求める宜野湾市議会のメンバー＝9日午後、那覇防衛施設局

宜野湾市長の天久翁（左）は9日午後、県内の政府出先機関を訪ね、在米米軍兵士の犯罪を防止するよう申し入れた。各議席は「相次ぐ事件は米軍組織内に問題がある」と考えられない。そこへ又入れぬ必要がある」と、西政府の強い懸念を求めた。

那覇防衛施設局や外務省、知事事務庁次長、県議らは、七月に那覇市で発生した米兵の誘拐にによる誘拐事件が、議員に大きな不安・衝撃を与え、無罪判決・留置を控える市民が成り得るのを恐れていると訴えた。

また、在米米四國駐官に担任したオーストラリア、フランス、韓国、グレン・中將が、在米米軍の規律を厳しくし、犯罪を防止するよう申し入れた。結果として、米兵による誘拐事件は、結果を出さず、と米軍を責めた。

山崎市長は那覇防衛施設局長に「防犯に『防犯』と実効性を防犯を取るよう米軍に求める。たが、事件を口にする必要はない」と説明。兵士の防犯施設については、米軍防犯を促すものもあつて、米軍防犯を促す必要はないと述べた。

2001年（平成13年）12月13日（木）

## 行政報告の質疑 議事録化を検討

### 宜野湾市議会が一致

【宜野湾】市議会（天）は、重要案件で、質疑久松栄議長）は、これまでは開会して行ってきた。で休憩中に行われていたとする平安座唯唯議員市長の行政報告に対するの主張で同日の本会議が本会議での質疑について、空席。

急ぎよ開かれた議会議運営委員会（伊佐敏男委員長）が、行政当局とのやりとりが議事録化される開会中に「議論の府として」当然（前川朝平議員）情報公開の趣旨に沿って積極的に実施するべきだ（伊出資する第三セクター 佐光雄議員）などの意見「ティ・エム・オ晋天」見て全委員の賛論の一致間一の賛業・決算報告にを得た。

しかし、今月定例会での実施は、一九九六年の議運で行政報告に対する質疑は休憩中に行うことが申し合わされておる「再度議論を深めるべきだ」（天城政利議員）などの意見で先送りのとなった。

市議会事務局の調べでは、県内十市で同法上の行政報告の質疑を休憩して行っているのは宜野湾、石川、石垣の三市だけ。ほか三七クに関する報告が任意の議員全員協議会で行われている沖繩市、本会議における資料配布で質疑がない浦添市などの事例もある。



2002年（平成14年）3月25日（月）



十八日の宜野湾市議会  
本会議。来年度の一般会  
計予算案審議で議の一  
人が疑問を呈した。市女  
性団体連絡協議会が主催  
して一月に行われた「女

### 宜野湾市の広報誌回収

広報誌（三月号）に掲載された女性模擬議会の経緯に「不適切な表現がある」と市議会から指摘を受けた問題で、宜野湾市は市内の公共施設などから回収可能な約二千五百部（発行一万二千部）を回収した。「掲載にかかわる」として異議を唱える議会と、議会の総意に「やむなし」と弁明の市当局。これに模擬議会関係者が不満を募らせている。三者三様の立場、主張、思惑が入り乱れ、傍觀の市民には「うげ〜」も凍った。

### 女性模擬議会の体験記

「現役議員は驚愕」  
「本物の女性議員を

## 権威にかかわる 議会側 感想に過剰反応 参加者

女性模擬議会（市共催、市のは名誉委員）現役議員 収拾している。  
議会後援）の体験記で、  
焦点は模擬議員として参  
加した投稿者が、見学者  
の感想を引用した部分。  
「現役議員は驚愕（ま  
ようがく）してうげ〜と風  
を扇ぐ。模擬議会の関係者、  
市議会には、掲載が公の  
視する一方「作意はなく  
過剰反応」市民の意見、  
「女団協幹部」との批  
や感想が、検閲、されて  
いる「など」と異議。  
模擬議会当日は、当局  
の申し入れて決議文から  
「普天間飛行場」県内移  
らした。このため異議編  
（中）支社・栗園雄一  
郎

います。現役、の皆さん、  
かたがたを感じたので  
はないでしょうか。『模  
擬議員』、本場の代役者  
（市民）の姿勢を見まし  
た。  
各会派の代表が協議し  
「全会一致」で「未配布  
て」驚愕などしていない  
し、危うくも感じていな  
い。事実でないことを現  
役議員」と名指し、書き  
を受け入れる形で事態は



「不適切な表現」で回収さ  
れた広報誌の3月号  
.....  
くされた経緯や、一部市  
議会の反対で本会議場の  
使用を二度、拒まれたとい  
きまじいがある。これで、  
当局と議会双方への折り  
合いが一層、悪化した格  
好だ。

つばせり合いて関係者  
に波紋が広がる中、第三  
者の市民には冷めた見  
方も。何に目くじら  
を立てているのか分か  
らない（四十代女性）感  
情的になり過ぎて双方  
が埋没している（二十代  
男性）。『』を振り  
り取り、女団協の幹部も  
「一度頭を冷やして考え  
直したい」とため息漏  
らした。

2002年（平成14年）4月19日（金）



### 燃料タンク落下

# 「通常飛行では起きず」

## 米「離陸時の誤作動」原因

米軍普天間飛行場でC-130E大型輸送ヘリコプターから燃料入りの補助タンク一個が落下した事故で、地元宜野湾市の比嘉盛光市長や旧の新垣良光知事公室長、外務省の橋本宏沖繩大使が十八日、相次いで北中城のキャンブ・フォスターを訪れ、「民間地域で大惨事になる可能性があった」と強く抗議し、再発防止を求めた。米軍側は「民間地域上空の通常の飛行では落下はあり得ない」とし、認識の差が表面化した。また、事故原因は、離陸時の誤作動との見方を示した。

比嘉市長は、在沖海兵は大惨事になる可能性が隊外交政策部のロニー・アッタと指摘。ヤール部長長に対し「また橋本大使は、ティ飛行場周辺は住宅が密集しており一歩間違えれば兵隊基地司令官に燃料タンクの落下は重大な事故になりかねない。大変遺憾だ」と原因究明と航空機の整備に万全を期す

よう申し入れた。

米軍側は「整備後の試験飛行中で、通常の飛行では落下はあり得ない」ヤール部長長、「飛行体勢に入ったヘリには生じ得る種類のものではない（C-130E）基地司令官」と民間地域での事故につながった可能性を否定。

その上で、同司令官は「今回の落下はヘリの車輪が地上から離れるときに発生し得る誤作動」との見方を示し、「住民に不安を与えたことは理解する」と、再発防止へ適切な処置を取ることを約束した。

新垣知事公室長は在日米軍沖縄調整事務所の前ロイ・ソング所長に対し、嘉手納飛行場でのF15戦闘機の訓練用照明弾落下事故や米軍人・軍属の少年による事故が多発している事態を受け、四軍全体による事故防止・犠牲者正の徹底を求めた。

### 宜野湾議会

#### 抗議決議へ

【宜野湾】米軍普天間飛行場でC-130E大型輸送ヘリコプターから燃料入りの補助タンクが落下した事故で、宜野湾市議会は十九日、基地関係特別委員会を開き対応を協議する。二十一日の臨時議会で抗議決議の見通し。（一部地域既報）

2002年（平成14年）4月22日（月）

米軍ヘリタンク落下

# 住民地域の飛行中止を

## 宜野湾市議会が抗議決議

【宜野湾】宜野湾市議会（次久嘉徳議長）は二軍機の落下物事故を「網」住民地域上空での飛行訓練即時中止の事故の紀の乱れと安全管理の欠如に起因する」として、早急な原因究明と公表の在沖米軍基地の整理・縮小の早期実現などを求めた。

二十三日には同委員らが那覇防衛施設局、外務省沖縄事務所などを訪れ、意見書を手渡す。抗議決議は在日米軍司令官、沖縄地域調整官らあすきに発生。離陸直後の事故は十七日午後一時、同市議会が抗議決議

間飛行場のヘリ燃料タンク落下事故に抗議する決議と意見書を全会一致で可決した。

決議では「一歩間違えれば住民地域においての大惨事にもなりかねない」と指摘。度重なる米

型輸送ヘリコプターが機体両側に装着した補助燃料タンク二個を滑走路上に落とした。

昨年六月には、同飛行場に向かっていた同型ヘリが兵員の訓練用バック二個を市内大山の民家わきに落とす事故を起こしていた。

2002年（平成14年）7月24日（水）

# 「基地跡に大きな公園」

## 一日議員で活発意見

【宜野湾】市内の小・中学生が一日議員となり、日ごろ考えていることや感じていることを市当局に問う「子ども議会」が15日、市議会議場の開かれた。各校から代表の男

女30人が参加。傍聴席で保護者や現役議員が見守るなか、街づくりや環境・ごみ問題、普

天間飛行場の跡地利用策など、質問や提言を一般質問の形で市の幹部にぶつけた。

### 環境・ごみ問題など提言



市教育委員会（宮城義昇教育長）主催の市制施行四十周年記念企画・議会は冒頭、議長に舞教中

学校の伊礼雄太君を、副議長に野湾中の石田倫紀君を選出して質問が始まった。

質問は「市内に緑が少

ない。普天間飛行場の返還跡地に家族が憩える大きな公園を二区画整理

予定の「大山のタインム

の保全を」議たちが登壇中に空き缶を拾った。

各学校に空き缶プレス機

を。最後に「福祉を大切に

する街づくり」など五項

目を盛り込んだ「未来を創（つく）る宣言決議」

を採択して閉会した。

「大規模災害時のライフラインや救急医療体制について教えて」（アイイー）が撤退を表明した。都市機能用地開発の行方は、「など本格的な質問まで出て会場をうならせた。

一方で持ち時間が一人

五分と少なく、ほとんどは質問と答弁が一度ずつのやりとり。答弁に子ども議会ならではの工夫がなく、通り一辺倒となるなど課題も残った。

また、「普天間飛行場の返還は本当に実現するの？」「なぜ水道料の徴収はふた月に一回？」

などの素朴な疑問から、

「大規模災害時のライフラインや救急医療体制について教えて」（アイイー）が撤退を表明した。

都市機能用地開発の行方は、「など本格的な質問まで出て会場をうならせた。

一方で持ち時間が一人五分と少なく、ほとんどは質問と答弁が一度ずつのやりとり。答弁に子ども議会ならではの工夫がなく、通り一辺倒となるなど課題も残った。

最後に「福祉を大切に

する街づくり」など五項

目を盛り込んだ「未来を創（つく）る宣言決議」

を採択して閉会した。

「大規模災害時のライフラインや救急医療体制について教えて」（アイイー）が撤退を表明した。

都市機能用地開発の行方は、「など本格的な質問まで出て会場をうならせた。

一方で持ち時間が一人五分と少なく、ほとんどは質問と答弁が一度ずつのやりとり。答弁に子ども議会ならではの工夫がなく、通り一辺倒となるなど課題も残った。

最後に「福祉を大切に

する街づくり」など五項

目を盛り込んだ「未来を創（つく）る宣言決議」

を採択して閉会した。

「大規模災害時のライフラインや救急医療体制について教えて」（アイイー）が撤退を表明した。

都市機能用地開発の行方は、「など本格的な質問まで出て会場をうならせた。

一方で持ち時間が一人五分と少なく、ほとんどは質問と答弁が一度ずつのやりとり。答弁に子ども議会ならではの工夫がなく、通り一辺倒となるなど課題も残った。

最後に「福祉を大切に

する街づくり」など五項

目を盛り込んだ「未来を創（つく）る宣言決議」

を採択して閉会した。

「大規模災害時のライフラインや救急医療体制について教えて」（アイイー）が撤退を表明した。

都市機能用地開発の行方は、「など本格的な質問まで出て会場をうならせた。

一方で持ち時間が一人五分と少なく、ほとんどは質問と答弁が一度ずつのやりとり。答弁に子ども議会ならではの工夫がなく、通り一辺倒となるなど課題も残った。

最後に「福祉を大切に

する街づくり」など五項

目を盛り込んだ「未来を創（つく）る宣言決議」

を採択して閉会した。

「大規模災害時のライフラインや救急医療体制について教えて」（アイイー）が撤退を表明した。

都市機能用地開発の行方は、「など本格的な質問まで出て会場をうならせた。

一方で持ち時間が一人五分と少なく、ほとんどは質問と答弁が一度ずつのやりとり。答弁に子ども議会ならではの工夫がなく、通り一辺倒となるなど課題も残った。

最後に「福祉を大切に

する街づくり」など五項

目を盛り込んだ「未来を創（つく）る宣言決議」

を採択して閉会した。

「大規模災害時のライフラインや救急医療体制について教えて」（アイイー）が撤退を表明した。

都市機能用地開発の行方は、「など本格的な質問まで出て会場をうならせた。

一方で持ち時間が一人五分と少なく、ほとんどは質問と答弁が一度ずつのやりとり。答弁に子ども議会ならではの工夫がなく、通り一辺倒となるなど課題も残った。

最後に「福祉を大切に

する街づくり」など五項

目を盛り込んだ「未来を創（つく）る宣言決議」

を採択して閉会した。

2002年（平成14年）8月9日（金）

## 米軍ヘリ不時着 抗議決議を可決

宜野湾市議会

【宜野湾】宜野湾市議会（天久嘉栄議長）は九日の臨時議会で、普天間飛行場所属の米軍ヘリが宜野座村で起こした不時着への抗議決議と意見書案を全会一致で可決した。再発防止と住民地域上空の飛行訓練即時中止、同飛行場の早期返還を求めている。また決議と意見書では昨年六月の米軍バッグ落下や今年四月のヘリ補助燃料タンク落下事故にも触れ、相次ぐ事故は「綱紀の乱れと安全管理の欠如に起因するものと断ぜ

ざるを得ない」と指摘。事故後も昼夜関係なく住民地域上空で飛行訓練が繰り返されていることに「市民の不安と恐怖は極限に達している」と訴えている。決議は在日米軍沖縄地域調整官や普天間飛行場司令官らに、意見書は首相や防衛施設庁長官らに提出する。

2002年(平成14年)9月9日(月)

**宜野湾市**

定数30(候補36)

 大城 政利 51  
無・新1②野  
嵩4の5の14  
③沖縄国際大学  
中退

 岸本 一徳 48  
公明・新1②新  
城1の23の1  
③日本大学中退

 伊波 一男 41  
公明・現2②赤  
道1の4の1の  
202③普天間  
高校定時制

 佐喜真 淳 38  
無・現2②真  
志喜1の21の  
25③千葉商科  
大学

 比嘉 正樹 32  
無・新1①会  
社員②愛知25  
の502③山梨  
学院大

 上地 安之 43  
無・現3②喜  
友名2の27の  
11③沖縄国際  
大学

 呉屋 宏 43  
無・現2②喜  
友名1の9の6  
③中央高校

 伊佐 光雄 50  
無・現2②大  
山4の4の15  
③中部商業高校


 前川 朝平 57  
無・現6②大  
謝名3の10の  
22③沖縄大学

 平良 真一 47  
無・新1②我  
如古1の24の  
12③中部工業  
高校

 宇江城昌健 63  
無・現4②上  
原2の13の1  
2③久米島高校

 大嶺 清 54  
無・新1②宜  
野湾2の3の1  
7③普天間高校

 知花 真正 63  
無・前5①会  
社役員②嘉数3  
の2の7③大阪  
府立大学工業短  
大

 比嘉 憲康 44  
無・新1②大  
謝名5の1の6  
③西日本短大

 名城 宏 67  
無・現3②真  
志喜617③中  
部農林高校

 桃原 功 43  
無・現3②普  
天間2の29の  
8③九州共立大  
学

 新垣 清涼 52  
無・現3②喜  
友名2の4の2  
0③沖縄国際大  
学二部

 屋良 朝秀 65  
無・現3②新  
城2の2の1③  
野嵩高校

 平安座唯雄 57  
無・現6②真  
柴原2の25の  
23③東洋大学


 玉那覇 繁 64  
無・現4②宜  
野湾2の15の  
15③中部農林  
高校


 呉屋 勉 49  
無・現2②大  
山4の2の9③  
専修大学

 沢岷 安政 65  
無・現2②伊  
佐3の16の1  
9③沖縄短大

 島袋 亀次 49  
無・現2②宇  
地泊71③東京  
写真専門学校

 中村 春松 49  
無・現2②赤  
道1の8の3③  
熊本工業大学

 伊波 広助 58  
無・現4②我  
如古373の2  
③沖縄国際大学

 上江洲安儀 66  
無・現6②新  
城2の30の5  
③沖縄国際大学  
短大部

 新垣 善正 49  
無・新1①保  
育園園長②真栄  
原1の7の29  
③九州産業大

 伊佐 敏男 57  
無・現4②大  
山2の22の1  
7③中部農林高  
校

 知念 吉男 56  
共産・現3②宜  
野湾1の18の  
2③泊高校通信  
制

 安里 嗣頼 31  
共産・新1②野  
嵩2の13の1  
の105③辻正  
コーレキュリネ  
ール国立調理専修学校

宜野湾市	選挙最終
大城 政利	現5 1859
岸本 一徳	現2 1622
伊波 一男	現2 1511
佐喜真 淳	現2 1485
比嘉 正樹	現3 1434
上地 安之	現2 1384
呉屋 宏	現2 1313
伊佐 光雄	現6 1226
前川 朝平	現4 1189
平良 真一	現1 1172
宇江城昌健	現5 1151
大嶺 清	現1 1138
知花 真正	現3 1095
比嘉 憲康	現3 1064
名城 宏	現3 1040
桃原 功	現6 1012
新垣 清涼	現4 1004
屋良 朝秀	現2 998
平安座唯雄	現2 955
玉那覇 繁	現2 952
呉屋 勉	現2 910
沢岷 安政	現2 906
島袋 亀次	現6 879
	現1 870
	現1 856
	現3 843
	現2 801
	現2 794
	現2 783
	現7 782
	現1 734
	現1 681

2003年（平成15年）1月14日（火）

## 対等合併目指し 任意協議会発足

宜野湾・西原・中城

による研究会に参加していた浦添や北中城にも継続的に合流を呼び掛ける。

同日午前、三首長が出席し事務局を担う宜野湾市役所に看板が設置された。

協議会会長の比嘉盛光宜野湾市長は「合併は避けて通れない現実的課題で、協議会設置は意義深い。地域住民に可能な限りの情報を提供し、住民参加による対等合併を目指したい」とあいさつ。

【宜野湾】宜野湾、西原、中城三市町村の任意合併協議会が十四日、発足した。今年六月までの法定協議会移行について一定の方向性を出していく。各市町村とも議会や住民への情報提供を行い、住民投票も視野に作業を進め、実務担当者

「新垣清徳中城市長は「庁内の論議、議会との

合意形成、住民の意向調査などこれから、共通理解が図られるよう努力していきたい」と語った。

2003年（平成15年）3月6日（木）

# 市政再生へ 激震なお

どうなる市長選／新たな街づくりは

## 職員「粛々と業務」

### 宜野湾市長逮捕

【宜野湾】公職選挙法違反容疑で市長の比嘉盛光容疑者が逮捕された宜野湾市。トップ不在の市役所では五日、興奮の捜査員による家宅捜索が五時間続いた。一方、市議会は六日午前の本会議で、比嘉容疑者が提出した辞表に同意する方針を決め、市長「比嘉市政」の動きが加速している。司直による違法献金事件の余容疑者に合わせ、新たな街づくりをどう描いていくのか。市長逮捕の激震は当分止まらそうにな。

（一面参照）



市長室や秘書課から押収した資料を運び出す県警捜査員  
—5日午後2時45分ごろ、宜野湾市役所

午後三時から始まった。同市議会の議会運営委員会。比嘉容疑者が議長に提出した辞職願の取り扱いは、当初は論は十分足りず、休会の手定だった五日午。行政トップの突然の逮捕にも、職員らは淡々と日常業務をこなした。幹部の一人は「どうもここまできた」という感はあるが、業務を粛々と進めるだけ」と自らに

捕にも、職員らは淡々と日常業務をこなした。幹部の一人は「どうもここまできた」という感はあるが、業務を粛々と進めるだけ」と自らに

った。

また、議会事務局や選挙管理委員会も、地方自治法や公職選挙法など関係法令に照らし、市長辞職後の選挙を視野に入れた準備に入った。

市役所一階のロビーでは、市民らが「市長の辞表提出」を伝えるテレビモニターに見入った。確定申告に来た女性などは「比嘉容疑者は、あれだけ無実だと言っておきながら」と首をかしげた。

興奮特別捜査本部は五日午前九時すぎから、宜野湾市役所など三カ所で文書や記録などを約三百点を押収した。宜野湾市役所の市長室の捜索は、五時間に及び、資料などを詰め込

比嘉容疑者の自宅の捜索は七時間を超え、隠し入れ七箱分の関係資料が押収された。



2003年（平成15年）3月6日（木）

# 市長「退場」2分で同意

## 宜野湾市議会 出直し選挙に走る

# 辞任「遅すぎた」



市長席は空席。市長辞職の議案に出席な表情を見せる文助役も執行部。6日午前10時、宜野湾市議会

【宜野湾】「市長辞職」に異議ありましか「異議なし」。六日午前に関われた宜野湾市議会の本会議。公職選挙法違反などの容疑で逮捕された市長・比嘉盛光容疑者から提出された「辞職願」は全会一致、わずか二分で認められた。「辞任はやむを得ない。遅すぎた」。行政トップの突然の「退場」を当然視する議員のほか、一部から「大層な時期の市長不在は残念」との声も漏れた。与野党は市長辞職の決定を受け、四月の出直し選挙に向け走り出した。（一面参照）

午前十時から始まった本会議、伊佐敏明議長が日程変更の確認をした後、議会事務局の職員が「辞職願」の文面を読み上げ、伊佐議長が同意を確認した。

市長席が空いた執行部席。市長職務代理者の文吉政雄助役らが審議を見る中、「辞職願」の同意が成立し、議員らは足早に居室に戻った。

本会議終了後、伊佐議長は（比嘉容疑者は）優秀な職員だったし、市長になってからも市民のため

に頑張ってきた。普天・米普を拒当部署と相談して残り、辞職は大変残念。応に追われていた。与党議員の一人は「市政を混乱させたのだから辞職は仕方ない。ただし、予備を審議する大層な議会を提案者がいなくなるのは残念。戸惑いもある」と話した。

市長速捕から三日。役所内は落ち着きを取り戻しつつあるが、トップ不在の余震は収まってい

2003年（平成15年）3月6日（木）

# 崩れた市民党

## 宜野湾市長選の波紋

〈上〉

宜野湾市長選の投票日  
まであと五カ月に迫った  
二〇〇二年二月、比嘉盛  
光容疑者への後援会事  
務所に県商工会連合会長  
（当時）の津波保光容疑  
者への姿を見た。

「革新共闘」の立候補要  
請を退け、保革の枠に  
たわらない「市民党的立  
場」での立候補を表明。

分会長（当時）の手登根  
順信被告（左）も立ち会っ  
た。ともに地元経済界のり  
動いた。

一方、跡地利用開発に  
伴う工事受注機会の増加  
が不可欠と認識。「普天  
間移設反対」を掲げる革  
新共闘では、日本特別  
行動委員会（SACO）に  
基づく県内移設による  
跡地利用の促進を図る  
国、県と理念が相反する  
ことになる」との判断が  
働いた。

七月の市長選の数カ月  
前、後援会長の諸喜田  
哲夫被告（右）も後援会  
幹部や津波保光容疑者、手登  
根被告らがたじたじ集  
まり「密会」を開くよう  
になる。この席で、業者  
からの寄付集めの手段や  
びたりと一致した。

密会で手口練る  
七月の市長選の数カ月  
前、後援会長の諸喜田  
哲夫被告（右）も後援会  
幹部や津波保光容疑者、手登  
根被告らがたじたじ集  
まり「密会」を開くよう  
になる。この席で、業者  
からの寄付集めの手段や

# 普天間跡地で利害一致

有志の会の立候補要請  
は、市長の意思を念押し  
するようにも映った。  
有志の会は市内の各種  
団体の代表をほぼ網羅し  
たメンバーで構成してい  
るが、事実上、土木建設  
業界や経済界がリード  
する団体。出馬要請に  
は、同メンバーで県建設  
業協会中部支部宜野湾

有志の会の立候補要請  
は、市長の意思を念押し  
するようにも映った。  
有志の会は市内の各種  
団体の代表をほぼ網羅し  
たメンバーで構成してい  
るが、事実上、土木建設  
業界や経済界がリード  
する団体。出馬要請に  
は、同メンバーで県建設  
業協会中部支部宜野湾

「革新」の市長よりも、  
選挙で堂々と支援できる  
「保守」の方が好都合だ  
った。実質的な「保守く  
ら替え」を契機に、比嘉  
容疑者との距離を一気に  
縮めたい業界側の意向  
と、支持基盤を固めたい  
比嘉容疑者の利害関係が

「保守」の方が好都合だ  
った。実質的な「保守く  
ら替え」を契機に、比嘉  
容疑者との距離を一気に  
縮めたい業界側の意向  
と、支持基盤を固めたい  
比嘉容疑者の利害関係が

比嘉陣営は六月二十日  
ごろ、選挙事務所です十  
余の業者を一堂に集めて  
寄付を要請。後援会幹部

自民と区支部（当時）を  
迂回（うかじ）したよう  
に見せかける手口が練  
られていったとみられ  
る。このうち数回は比嘉  
容疑者も同席していたと  
いう。

「保守」が好都合  
この一週間前、比嘉容  
疑者は一週目を支えた

比嘉容疑者は、跡地利用  
の促進には国、県の支援

比嘉容疑者は、跡地利用  
の促進には国、県の支援

比嘉容疑者は、跡地利用  
の促進には国、県の支援

比嘉容疑者は、跡地利用  
の促進には国、県の支援

# 経済有力者と蜜月関係に

のほか、最前列には業者  
たちと向き合っつて段に  
座る津波保光容疑者も手登根  
被告の姿もあった。  
「特A業者は百万円以  
上の寄付をお願いした  
い」

業界リーダーの「号  
令」に異論を唱える者は  
いなかった。会合は和気  
あいあいとした雰囲気  
の中、一時間足らずでお開  
きとなった。

席上、法律上の問題が  
あつて比嘉後援会の領収  
書が発行できないこと、  
代わりに自民と区支部の  
領収書が発行する旨につ  
いても説明があつた。

2003年（平成15年）3月8日（土）

# 明れた市民党

## 宜野湾市長逮捕の波紋

〈下〉

市政トップの逮捕で、急ぎはまった市長選挙。有権者が多量に投票を求めると見られる中、米軍普天間飛行場の移設やPDSの問題も複雑に絡み合い、四月十七日の投票日に向けて候補者選出は曲折が繰り返された。

県連主導に不満 「革新」から「市民党」に政治スタンスを変えた比嘉前市長が、前回選挙では表立った政党の支援を受けず、普天間飛行場の移設問題、県や国と共同歩調を取ったことから、旧来の保守の枠組みを複雑化した。

# 「新市長」候補選び曲折

現任の市政与党も保守系革新系が混在、きびしく保守系、革新系それぞれ二つに分けている。稲嶺政や県議与党

県連も交え、地元関係者と意見交換を始め、保守系候補で名前が挙がっているのは、同市区選出の稲嶺政・安次富氏と現助役の又吉辰雄氏の

稲嶺政や県議与党 二人、安次富氏は父親が元市長で、若手経済人からも人望厚い。ただ、県連周辺からは「飛院選の候補として大事にすべきだ。市長選で傷がついては困る」との意見も根強い。

一方、又吉氏は豊富な選挙経験に加え、市政与

にどうせつかわるべきだった普天間問題を革新勢力に卸売されたくな

「前市長は革新系の『市民党』で、今度はどうしようか」と、県首脳の間には、田中

二人、安次富氏は父親が元市長で、若手経済人からも人望厚い。ただ、県連周辺からは「飛院選の候補として大事にすべきだ。市長選で傷がついては困る」との意見も根強い。

一方、又吉氏は豊富な選挙経験に加え、市政与

党が一枚岩になって推せるという目算がある。だが不祥事で辞任した市長の後継者というイメージが付きまとい、

「普天間」焦点に不祥事による現職責任の一見直しによる革新野党にも、市政では与野党に分裂し、県政との「ねじれ」が生じてい

# 跡利用絡み保革にねじれ

## 市議会と県議会の関係図

### 宜野湾市議会

保守系		
21世紀クラブ (7)	}	自民党系
民政クラブ (7)		公明県会議
公明党 (3)		
革新系		
わたての会 (4)	}	友寄信助 (護憲ネット)
市民クラブ (3)		伊波洋一 (社大結連合)
結の会 (3)		共産党
結の会 (3)		
共産党 (2)		
保守系無所属 (1)		自民党系

※敬称略。( )内は市議会の議席数

### 【与党】

の「市民クラブ」に近い。伊波氏サイドは「伊波擁立」を軸に、今年一月の時点で、市長選で共闘の打診をうけているが、対

内移設反対を言っている。伊波氏サイドは「野黨」を軸に、今年一月の時点で、市長選で共闘の打診をうけているが、対

「野黨」 歴きた。首脳は今までの作業がスムーズにすすめる、後退もできなると、警戒感を強める。

2003年（平成15年）5月14日（水）

# 「普天間」5年で返還を

## 伊波宜野湾市長が所信表明

### 県内移設あらためて否定

【宜野湾】宜野湾市議会（伊佐敏男議長）の臨時議会が十四日午前、開会。初登壇した伊波洋一市長が所信表明を行い、普天間飛行場返還問題について「県内移設を前提としない立場で臨み、五年以内の全面返還を求めると、国、県と対峙（たいじ）していく姿勢を強調。その上で、「名護市への移設は今後十数年、二十年以上も普天間返還を先送りするもので、市長として容認できない」と力説した。



普天間基地問題などについて、所信表明する伊波洋一市長。14日午前10時すぎ、宜野湾市議会。

伊波市長は冒頭、市長としては「県内移設ではな選のきつかけとなった遠く、五年以内の全面返還法献金事件に言及、「再」が市民の選択だ」と指摘。発防止が新たな市政を拒当する私の重要な責務」と述べ、「入札制度改革による業者との癒着根絶や分離分割発注による地元業者の健全育成を図る」と、決意を披瀝した。

市長選で最大の争点となった普天間問題について、

（4面に解説）

爆音被害が増大している現状を説明。加えて、同飛行場の跡地利用については「五年以内の返還に備えるため、二〇〇五年度に『跡地利用基本方針』を策定できるよう、県とともに取り組む」との考えを表明した。

一方、市町村合併や西海岸開発、待機児童問題など、山積する市政の課題については「関係機関や県、政府の理解と協力を得て取り組む」との方針を示した。

また「開かれた市政の実現」に向け、情報公開室の設置を明言。「市政

に、関係者が資料を利用できるようにすることの考えを明らかにした。

#### 基地監視に カメラ設置

【宜野湾】伊波洋一宜野湾市長は十四日までに、米軍普天間飛行場を離着陸する戦闘機やヘリの飛行ルートなどの実態を把握するため、監視カメラの設置を市基地政策部に指示した。同部は

同部は「飛行ルートなどはみ出し飛行の実態を視覚的に把握する狙い」と説明している。